



社団法人名古屋工業会会誌

ごきそ

2009 1-2月号

【新年挨拶】

篠田陽史理事長のあいさつ
松井信行学長のあいさつ

【トピックス】

実務型教員の経験から
名工大・名市大合同テクノフェア2008

【交流コーナー】

非サイエンスがもたらした二つの世界初

【学生コーナー】

私の国、アフガニスタン
日本に来てよかった

【クラブ紹介】

仲間がいっぱいな合気道部
躍進するバスケット部

【学内ニュース】

【情報ネットワーク】

支部報告・会員ニュース

No.427

発行 社団法人名古屋工業会
(名古屋工業大学全学同窓会)
〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4
TEL・052-731-0780
FAX・052-732-5298
E-MAIL・gokiso@lime.ocn.ne.jp
<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>



平成21年度 社団法人名古屋工業会 第43回通常総会 開催予告

日 時：平成21年 5月23日(土) 14:00～
場 所：中日パレス 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル 5階
TEL 052-261-8851
日 程：総 会 14:00～15:30 クラウンホール
特別講演会 15:40～16:40 〃
懇 親 会 17:00～19:00 エンゼルホール
※詳細は次号でお知らせします。

東京支部 『東京ごきそサロン』 開催のご案内

第43回「東京ごきそサロン」を次のとおり開催致します。会員各位のご参加をお待ちしています。

開催日時：平成21年 3月11日（水）18時30分～20時30分
開催場所：八重洲倶楽部（東京駅八重洲口地下）電話：03-3275-0801
テ ー マ：「睡眠と睡眠環境」
講 師：中村 勤 氏（W38） 西川産業(株) 日本睡眠科学研究所長
講演概要：睡眠なくしては生きてはいけない。睡眠は「生きている」すべての局面において、直接または間接的な関りをもっている。睡眠に関する話と快適な睡眠を得るための睡眠環境について身近な寝具を中心にお話されます。
会 費：1,000円（懇親食事代）
申 込 先：事の準備の都合上、3月4日（水）までに下記の各科常任幹事宛、電話又はFAX又はe-mailでお申し込み下さい。各科常任幹事は出席者名簿を3月7日（土）までに須賀まで E-mail (hsuga@jcom.home.ne.jp.) あるいはFAX (048-833-1376) によりご連絡下さい。

C原田：Tel 03-3535-1579
e-mail: tatsuji.harada@toda.co.jp

A小松：Tel 03-5461-1695
Fax 03-5769-1915
e-mail: komatsu.nobuharu@obayashi.co.jp

M松浦：Tel 03-3544-3402
e-mail: matuura@mes.co.jp

E加藤：Tel/Fax 029-273-5506
e-mail: kato.katsuhide@h9.dion.ne.jp

D三山：Tel 03-3972-4909
Fax 03-3972-4583
e-mail: miyama@asahibond.co.jp

W飯田：Tel/Fax 03-3688-1961
e-mail: imas-hi@cameo.plala.or.jp

Y日沖：Tel 03-3347-7512
Fax 03-3347-7548
e-mail: hioki3@y6.dion.ne.jp

K須賀：Tel/Fax 048-833-1376
e-mail: hsuga@jcom.home.ne.jp

F嶋 嶋：Tel 0466-83-9490
Fax 0466-82-9239
e-mail: shima.shohei@ebara.com

B濱野：Tel 042-795-0641
e-mail: k-hamano@h01.itscom.net

Es平手：Tel/Fax 045-321-7626
e-mail: hirate@nifty.com

㊦北野：Tel/Fax 03-3467-5739

表紙写真説明

「生協前広場の木々」

19号館北の非常階段から撮影しました。いつもは居室のある20号館から古墳周辺を眺めるのですが、今は耐震工事中です。

撮影者 黒柳 奨 (EJ ㊦)

新年挨拶

新年に当たって

名古屋工業会 理事長

篠田 陽史 (M33)



新年明けましておめでとうございます。

名古屋工業会の皆様、ご家族様には、健やかに良い年を迎えられましたことと、お慶び申し上げます。

6月、皆様のご推挙により、(社)名古屋工業会理事長に就任し、すでに6か月が過ぎました。その間、新執行部や、各委員会の諸氏とともにこの2年間の最大のテーマである“我々全学同窓会のあるべき姿を明確にし、方向を決める”、具体的には、事業目的の再確認と組織改革について検討してまいりました。これを推進するため、新たに組織改革委員会を設けております。

ご存じのように、母校、名古屋工業大学は、平成16年、国立大学法人となり、21年度が第1期計画の最後の年となります。この結果が将来大学が生き残れるかの第一歩となります。

昨年11月の終わりごろ文科省による成果の中間評価があり、学長以下大奮闘されていました。

母校が生き残れるか必死の努力をされているなかで、今までの名古屋工業会の事業目的と活動では足りないことは自明であり、もっともっと大学と連携する必要があります。

昨年11月27日には学長、副学長および理事の方々と工業会執行部との懇談会を開きました。

この懇談会では名古屋工業会の新法人化に関する諸問題と、大学法人化のなかで出てきた大学の我々工業会にたいする思いを率直に話し合い、認識を同じくする事にありました。

この懇談会で得られた最も重要なことは“大学にとって生き残っていくためには100年の歴史によって作られた卒業生52,200人の知識量、社会貢献量こそ資産であり、これを念頭に置かな

いかぎり、戦略も戦術もあり得ない”が一致した基本認識となったことです。

しかし、現在プライバシー保護等もあり2001年を最後に卒業生名簿は作られておらず、名古屋工業会の組織率も21.8%です。単科会にもご協力を願い、会員増強委員会や各支部とも会員増強に努力していますが、まだまだの現状です。

これらを踏まえ、この懇談会では“大学と工業会との実務レベルの会を持ち、具体的な問題を話し合う”ことが決まりました。

11月18日の単科会との懇談会では、大変有益な議論が出来ましたが、この中では単科会でも名簿管理と会員増強、それに先生方の事務負担が取り上げられています。

単科会については11 - 12月号“ごきそ”のトピックス単科会特集をご覧いただきたいと存じます。

12月5日の参事会でも名簿管理が一番の問題点として取り上げられました。

母校、そして名古屋工業会にとっての最大の資産が卒業生である以上大学と一体となってこの問題の改善にむけ、前進してゆきます。

おわりに、昨年サブプライムローン問題を皮切りに、米国に始まった世界的な金融危機は最大の銀行シティーバンクだけでなく、ビッグ3にも経営危機をもたらすまでになりました。日本にも大きな波がきており、来る3月期決算では減益となる企業の増加が予想されます。

この逆風のなか皆様におかれましては、ご自愛されるとともに、これを順風と捉え、ますますご発展されることを、祈念いたします。

新年挨拶

新年のご挨拶

国立大学法人名古屋工業大学

学長 松井 信行(E41、修士43)



誰もが予想しなかった金融恐慌による社会システムや産業活動への大きな衝撃の真只中で迎えたお正月ですが、名古屋工業会の皆様には、健やかに新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。日ごろは名古屋工業大学への多方面にわたるご援助、ご支援を頂いておりますこと、改めて御礼申し上げます。

本年4月からは、04年にスタートした国立大学法人第I期の最終年度を迎えます。各国立大学法人では、第I期の諸活動を点検し、第II期に向けて理念・目標を中心に次期構想を練っている状況にあります。これに先行して公的な第I期の計画達成度評価が、業務・運営については文科省の評価委員会、教育・研究については文科省から委託を受けた学位授与機構によって行われ、結果は第II期の各大学の運営に反映される仕組みにあります。

さて、本稿では毎年のご挨拶とは違った切り口で、名古屋工業大学の「ブランド力」について皆様と考えてみたいと思います。諸先輩の実社会での長年にわたる実績がものをいって、工学部志願者減少が全国的に懸念される中で、本学の入学志願倍率は横ばいを保ち、就職倍率は15倍を優に超える高率を維持しています。他方、上記の公的評価とは別に、巷には色々な形の評価があります。例えば、週刊東洋経済8年10月18日特大号「日本の大学トップ100」では、全国の765国公私大学のうち177大学を対象に、財務力、教育力、就職力の総合評価が掲載されており、本学は総合評価で28位、財務評価として外部資金で8位、特に資金獲得力で東北大学と本学を特記しています。就職力は総合73位です。

リクルート社のカレッジマネジメント Vol.153, Nov./Dec.2008「大学のメッセージは伝わっているか」では、高校生を対象にした進学ブランド力調査をもとに、知名度、志願度、興味度を地域毎に示しています。知名度では上

位15大学を私学12、国立3が占め、本学は含まれていません。興味度、志願度は共に13位です。個別キーワードでの高校生から見た名工大の印象は、有名、高い教育レベル、優秀な教授陣、深い専門性、就職の有利性、卒業後の活躍、社会での有益性、周囲からの良い評判、先進性、真面目、交通至便などが挙げられている反面、伝統、発展性、活気、校風、国際性、将来の多様な選択肢、学生生活、自慢できる、明るい、力強い、上品、個性的などの感性的側面では沈黙です。

一方、研究者間で世界的に信頼の高いトムソン・ロイター社のデータでは、1論文当たりの被引用数で研究の質を評価し、本学の物質科学（セラミックス分野）の研究の質を東大や東工大を凌いで1位としています。

外部の評価は、上に掲げた例を見ても当事者として必ずしも納得のいくものばかりではありません。しかし、大雑把な表現をお許し願えるなら、名工大は「玄人受けのする大学」ではありますが「一般には親しみがもてない大学」、「高校生の話題に乗りにくい大学」のようです。受験追い込み期に、予備校などのチラシ広告「難関大学突破直前対策!!」の後に名前が載る機会も少ない。日本を含めた先進諸国は勿論、すぐお隣の韓国や台湾でも急速に進む若者の工学離れの中で、一人名古屋工業大学だけが安泰であるはずは無く、玄人筋にだけ通用することで安住できないことは明白です。昔と違って入学対象者は高校生だけではありませんが、その大多数を占める高校生から憧れの目で見られる大学になるための抜本的な方策が必要です。発信すべき内容の精査と発信媒体、もはや刊行物に頼る時代ではありませんから、新たな通信媒体や若者社会特有のシステムをフルに活用する方策を具体的に検討しています。

トピックス

大学・学生支援の新たな取り組み 実務型教員の派遣について

(社)名古屋工業会 常務理事 二杵幸夫 (K39)

大学との連携強化第一弾として、昨年秋より開始された第二部授業への実務型教員派遣については、本年度、この9月から二期目に入った。この企画は、卒業生という貴重な財産を活かそうという大学からの提案を実現に結び付けたもので、各単科が独自で実施されてきた実務型セミナーの延長線上にあるものと考えられるが、単科会毎という狭い枠を超え、名古屋工業会という広い範囲に人材を求めた点で意義があるものと思う。「顔の見える」単科会単位での人材登用から工業会による公募という「顔の見えにくい」やリスクを伴う企画ではあったが、大学サイドの英断を評価したい。104名という多数の応募を受け、後輩への教育に力を貸そうという会員が多いことも明らかとなった。

「キャリアガイダンス ～社会に飛び立つ若者に向けて～」と題するこの企画は、毎週金曜日、講師が交代しつつ3時間程度の講義をするものだが、講師相互の連携をとることもかなわ

ず、専任教授の御苦勞もあったことと思われる。各講師の熱心な講義は学生にとっても新鮮で、おおむね好評であった模様だが、感想を交えた講義報告を特集することでこれらの声を参考に、本企画をさらに充実したものとしていきたい。

この施策は、産学連携・研究協力、地域の技術開発コーディネータ登録など、会員の知識・経験を活かした活動へとさらなる発展も予測されるものであり、会員情報の蓄積を図りつつ今後の施策展開を検討していきたい。

単なるOB同志の情報交換・親睦のみでなく、大学・学生支援、地域支援へと活動の輪を広げていくことが(社)名古屋工業会の務めであることを自覚しつつ、大学内各機関との連携、工業会内の各委員会との連携も強化してまいります。会員各位の絶大なるご協力を強くお願いいたします。

あなたの職業経験を名工大の後輩に伝えてみませんか

名古屋工業大学 第二部 実務型教員(非常勤講師) 募集

募集人員：15名程度

- 時期：平成19年度後期(10月～2月)のうち1日
毎週金曜日 17:50～21:00(実務3時間)
- 講義テーマ：「キャリアガイダンス ～社会に飛び立つ若者に向けて～」
社会に飛び立つとする若者が主体的にキャリアや進路の選択・決定ができるよう、サポートとアドバイスをを行う。若者にとって、参考・モデルとなる事例、考え方、心構えなどについて、職業人としての経験、見聞、考察に基づいて講義していただきます。
- 対象：工学部第二部 5年生
- 条件：名古屋工業会の会員であること。
新規入会可能
- 謝金：30000円 + 交通費(宿泊費を除く)
- 締切：平成19年3月末日

講義サポート
毎回、名工大専任教員が講義の司会およびアドバイスをいたします



お問い合わせ先
社団法人 名古屋工業会 (名古屋工業大学全学同意会)
〒466-0062 名古屋市昭和区葵町4
TEL:052/731-0780 FAX:052/732-5298 E-Mail: gokiso@time.ocn.ne.jp

「キャリアガイダンス」講義テーマ例

番号	テーマ例
1	職業選択へのアドバイス - 選択基準、必要な知識経験と他者の支援、職業適性
2	工学を学んだ者のキャリア - 職業選択から実際の職業生活
3	さまざまなキャリアの具体例 - 経営者・専門職から自由業
4	今日の職場における問題とそれへの対応 - ハラスメントからリストラ・成果主義・人事労務管理
5	産業を取り巻く課題と対応 - 分社化、M&Aから国際競争、経済、政治
6	仕事場面における問題解決 - 問題解決技法、知的創造、生産的思考
7	職場・集団における人間関係 - 集団力学、凝集性、協働・協調、ロイヤリティ
8	職場・集団におけるリーダーシップ - 適切な管理・監督、部下(フォロワー)のリーダー観
9	後輩・部下をはじめ従業員への育成 - キャリア形成・カウンセリング、メンタリング
10	組織における教育・訓練 - 人材開発、OJT、Off-JT、自己啓発
11	採用・人事におけるアセスメント - 採用選考、人事考課、学生の就職活動、適性
12	学校教育と仕事の関係 - 学校教育でえたものを活かす心得
13	職場におけるメンタルヘルス - 健康管理 - ストレス、労働災害、趣味と休息、職場適応
14	仕事への取り組み - モチベーション、仕事へのコミットメント
15	生活・仕事と働きがい・生きがい - 職業の機能、職業の意義、個と仕事、職業観・労働観・職業倫理
16	製造業(ものづくり)・非製造業における仕事 - 内容、魅力、適性・資質、働きがい

テーマについては、相談に応じます。上記テーマ例の中から2つ以上を取り上げ講義願います。

「キャリアガイダンス」実務型教員(非常勤講師) 候補者申込書

下記に記入の上、FAXまたは郵送でお申し込み下さい FAX 052-732-5298
申し込みいただいた方には、後日実務型教員の推薦に必要な書類を送付させていただきます。

ご芳名	年齢	講義希望テーマ番号(複数選択可) (強く希望○、希望○)
勤務先		1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, その他()
所属部署・役職		
自宅連絡先 (住所) 〒	勤務先連絡先 (住所) 〒	
TEL() - , FAX() -	TEL() - , FAX() -	
E-Mail : ()	E-Mail : ()	
学科・卒業年次	工業会会員	入会済 / 未入会
職歴	保有資格・学位など自己PR	

個人情報の取り扱いについて(個人情報の取扱い目的)
申込書で収集した個人情報は、名古屋工業大学非常勤講師の募集のために必要な範囲内において利用します。

トピックス

実務型教員の経験から

民間人校長が見た大成功の「実務型教員企画」 目を輝かせて聞き入る学生たちにびっくり!

愛知県立刈谷工業高等学校 鈴木 直樹 (Y49)

牛込前理事長と松井学長の発案の下、素晴らしい企画が昨年スタートしました。この企画は名工大独自のものであり、他に類を見ない誇るべきものだと思います。たまたま、私は四年前に豊田自動織機社員から愛知県立高校の校長に移籍した民間人の校長であります。そこで、教育側と企業側がわかるということで、この企画の立ち上げに少しだけ関わらせていただきました。また、実際のスピーカーとしても二年間、初回の講義をさせていただきました。そんな私の目から見た企画の感想を少し述べさせていただきます。

メインテーマは「キャリアガイダンス」ですので、工業教育論や企業での人材育成的な内容がベースになっています。各スピーカーが自分なりにサブテーマを決めて自分の体験に基づき、現場の最前線の話の一回ずつの講義でリレーをしていきます。私たちスピーカーにとっても、たった一回だけですので「一期一会」のつもりで気合を入れて話をします。きっと二度と会うことも無いだろう後輩の若者に対して、今思っている想いをこめた話をしていきます。その中身は失敗談もあり有頂天のような話もあるでしょう。ここだけの話しなんていうのも

きっとあるでしょう。学生は毎週一回、社会の現実の話の突きつけられます。他の講義者の中身について多少漏れ聞いていますと、私自身も学生の時に是非、こんな講義を聞いたかったなああとさえ感じております。そのような講師の熱意が学生諸君に伝わり約70名の受講者は目を輝かせて聞き入ってくれます。後日、提出されるレポートも感謝と驚きの声の詰まった素晴らしいものばかりです。それを見ていると見所のある後輩たちもたくさん育っているのだと思い嬉しくなります。社会人としてのゴールに近づきつつある先輩とこれから社会に巣立とうとする後輩学生の間で素晴らしい時間と空間ができていると確信しています。せっかく芽生えたこの素晴らしい企画がますます充実発展していくことを期待しております。

ちなみに私は二つのテーマで話しました。一つ目は最近の高校教育について、特に工業高校の事と新しい総合学科高校の説明をしました。二つ目は体験したトヨタ生産方式の「ジャストイン タイム」などの話をし、今後にどう生かせるのか話しました。講義が終わった後も質問攻めにあい嬉しい限りでした。



トピックス

実務型教員の経験から

実務型教員体験記

ロビンソンクルーソーはどこへ

日立電線(株)中部支店 山田 秀夫 (E51)

私は平成19年度名工大第二部「キャリアガイダンス」実務型教員を初めて経験させて頂きました。その貴重な体験に至るまでの経緯と動機、感想について述べさせて頂き、本企画の意義を読者の方々に少しでも理解頂ければ幸いです。

私は茨城県日立市に本拠地のある日立電線(株)に就職し、電線事業とは全く異なる化合物半導体ビジネスの事業化を創業当初から担当することになり大変な苦勞をしました。その甲斐があつてか、携帯電話の90%以上に化合物半導体が使われることになったことは誇りに思っています。化合物半導体事業化の期間では研究開発から製造現場、生産管理、設計、営業の職歴を経た後、技術開発本部に移り、知的財産、プロジェクト管理、産学官連携の仕事をこなし、3年前の2005年に名古屋の中部支店にやってきました。

折しも、名古屋工業会から一通の手紙が届き「キャリアガイダンス」実務型教員募集が目にとまりました。それは中部支店に赴任した目的である地元中部経済発展への貢献と母校である名工大への恩返しができるチャンスと思い、迷わずに応募しました。私の職歴から得られた知識、知恵などの「知」を、若い学生達に見せてみて、果たして見事に伝えることができるか、それは大きなチャレンジの始まりとなりました。

この募集への応募総数は100名以上と予想外の人気となり、私を含めて15名が選考されました。

私は「何のために学ぶのか、働くのか」、「何のための生きるのか」という、哲学的・宗教的・倫理的な考え方への挑戦を試みることにしました。この分野は特に勉強したわけでもないの

ですが、4年前に亡くなった父親のことをきっかけとして関心を抱いたに過ぎません。戦後、無我夢中で働いてきた両親の背中だけを見て育ってきた我々の世代は、急速な高度成長時代を少年期に経験し今や豊かな暮らしを満喫しています。次の世代である我々の子供達は豊かな暮らしの中で何不自由なく育っているように見えます。物質的なところはほぼ満たされて育っていると言ってよいでしょう。満たされた中にいけば自然と労働意欲が無くなり、夢・希望・幸せといった言葉のみが空回りして若者から失われているように思われてなりませんでした。

そこで、思い切って「何のために学ぶのか、働くのか」、「何のための生きるのか」を話すことにしたのです。しっかりとした人生観としなやかな処世術について身に付けて欲しいこと、知っておいて欲しいことを纏め上げました。例えば冒頭からいきなり「若き日の志と野心」について話をしました。若き日の思いを生涯大切にし、子孫に伝えていけばきっと叶う日がいつかは来ることを自分の体験を例にして説きました。自分の体験ですから借り物ではありません。ノンフィクションですから迫力がありますので学生達の目付きが次第に変わってくるのがわかりました。「愛」と「夢」の本質についても語りました。学生達は、何を話すのだろう興味津々です。漢字を良く見ると「夕」があることがわかります。これは遺伝子をつかさどるDNAの螺旋構造を表しており、人類の本質に関わる言葉になっていると無手勝流を言うわけです。これは仮説であって学問的に証明されたわけではありませんと注釈して終わります。

また、人生の迷いを吹っ切る呪文としてバカボンのパパが言う名台詞、「これでいいのだ！」

を紹介しました。今の若者達は赤塚不二夫氏の名作「天才バカボン」を知っている筈はないのですが、大変興味を覚えてくれたようです。後で知ったのですが、赤塚不二夫氏が先日亡くなって、友人のタモリ氏が弔辞を述べたのですが、その中に「これでいいのだ！」を世の中に残した功績を讃えていました。これからの時代はお手本のない世の中といわれ、益々混迷の時代に突入しているように思います。どうしたらよいのか自分自身が迷路に入り込んだときに「これでいいのだ！」と叫べば野球の星野監督の言うように前へ進めるのです。迷ったときに前へ進めない若者が多いと聞いていますので、この呪文により、少しでも救われればと思うのです。

このように話を進めていったのですが、一方的な話では面白くはないだろうと思い、時々質問を挟むことにしました。日本最大のテーマパークは富士山です。日本人だったら一度は登ってみよう。そして頂点を極めることの大切さと素晴らしさを体験してみようと呼びかけました。そして富士山に登ったことのある人と質問しところ、1人がいました。次に冒険の勧めとして「ロビンソンクルーソー」の冒険旅行を知っている人と質問しました。何と誰も知りません。それは大変意外なことでした。そこで無人島に漂着したロビンソンクルーソーという人の生き様について語りながら、持参した岩波文庫を紹介しました。そして、君達の現状はロビンソンクルーソーと同じ状況にあり、裸一貫で今から世の中に飛び出していかなければならない。一人では何もできないので、まずはフライデーという相棒を見つけることから始め、学んだ知識と知恵を活かして自分の世界を築きながら生きていかなければならない。それには何よりもロビンソンクルーソーの生き方を学ばねばならないであろうと話したのです。教室の空間を船に見立てて、この船がこれから難破し、無人島で一人生き残った情景を想像させたのです。社

会へ出て行くということは、そういうことですよと。おそらく学生達は、そのような情景を想像したことさえ無かったように思われました。

さて、遊園地のジェットコースターに乗っているが如く、次から次へと目まぐるしく変わる2時間半余りの私の話は、輝く100の瞳が見つめる中で、元のスタート地点に戻ることにしました。課題について、レポート提出の時間になりました。課題は講義前に出してあった「何のために学ぶのか、働くのか」、「何のための生きるのか」です。感想文も書いて貰いましたので、その一部を紹介します。

- ・働くことや生きることの意義について具体的に分かり易く説明頂きました
- ・「何のために」を考える良い機会となりました
- ・今までの講義とは異なり、非常に有意義な内容でした
- ・普段から考えていないような事が多く学びました
- ・とても新鮮な話に感謝します

心配したのですが、私の想いは学生達にはほぼ伝わったものと大変満足しています。

最後に、このような機会を与えて下さった名古屋工業会ならびに名工大関係者の皆様に感謝申し上げます。特に、ご指導頂きました都市社会工学科の鷺見教授には厚く御礼申し上げます。



トピックス

実務型教員の経験から

実務型教員を経験して
『学生の規範意識は?』

元大日本スクリーン製造(株) 山田 光彦 (F43)

昨年、今年と母校・名古屋工業大学において実務型教員として「キャリアガイダンス」をメインテーマに、第2部5年生の学生を相手に講義した。年に一回のみの講義ではあるが、午後5時50分から9時までの、実質3時間ほどの結構充実した時間であった。

【私の職務経験】

名工大を卒業して、ある企業に就職し15年ほど主に印刷関連の画像処理機器の研究開発に従事した。その後アメリカに技術調査員として5年近く駐在し、IT関係展示会やコンファレンス、セミナーに出席して業界の最先端技術を調査するとともに、数多くの米国企業を訪問し、それらの会社の技術なども調査した。その中で、米国カリフォルニア州のソフト開発会社のM&Aを提案して、買収を成功させたりした。また、その会社に駐在もした。帰国後は海外出張をこなしながら、米国のベンチャー投資ファンドと関わりを持ち、米国式ベンチャー企業の育て方などを学んだ。それらの経験をもとにして、新事業企画や技術戦略の任務を担当した。また定年後は技術系新卒の大学推薦をお願いするために、全国主要大学の就職担当教授を訪問して、会社説明と推薦のお願いに全国行脚した。

【応募の動機と講義テーマなど】

昨年名工大より実務型教員への応募の誘いがあった時に、私が海外で苦勞した話などは学生にとって、特に工業高校の教師となって高校生を指導していく役目の学生にとっては、今後益々重要となるグローバル感覚の育成などにつながるのではないかと考えたのが、応募をした動機である。

講義の主テーマは法令遵守、コンプライアンス、CSR等とした。学生は卒業して社会に出て後いろいろな社会的立場に立つことになり、その立場、立場に応じての「顔」を持つことになる。家庭では家族の一員、親の「顔」であり、会社では社員で、それぞれの地位の「顔」であ

り、学校では教師の「顔」を持つことになる。その時々「顔」に応じての、守るべき法関係や社会ルールがある。講義ではそれらを、種々の視点からとらえ本質を理解する必要性と各々の国、社会において法、文化、宗教などが異なることから起こる規範差異、諸問題等の具体例を交えて紹介した。



写真1. 講義する筆者

【講義を行っての感想】

昨今いわゆる不祥事、偽装などの事件が多く発生している。技術者の立場からいえば、安全に関して偽装したりすることは考えられないものであるが、現実には多くの問題が発生している困った今の状況である。講義ではコンプライアンス、CSRなどのテーマと共に最近の不祥事例などについても話した。不祥事が発生する背景のとらえ方、労働の目的、対価としての賃金等々を説明し、問題解決手法の紹介もした。特に諸外国人と日本人の文化の違い、考え方の違い、法令の違いなどは具体例をもって説明した。事例とともに、ことわざや比喩を用いての説明は、分かりやすかったようだ。しかし、講義は私からの一方的な話であるので、学生の考え、意見を聞く機会がなかった。機会があれば直接多くの学生の考えや、グループ討議をしてみたいと思った。ともあれ、殆どの学生諸君からは熱心な聴講態度が感じ取られた。特に外国での

経験談には興味があったようで講義終了後に質問にきた学生が何人かいた。ただ、一度に盛り



写真2. 話を聞く学生

沢山の内容を扱い、話題を多くし過ぎて話題が散逸したかなとの反省もある。

【課題について】

講義の終わり30分間は課題のレポート作成と決められていたので、課題を次のように設定した。

課題「あなたの教え子で、民間企業に就職して技術者として活躍している青年が来て、『会社が電気部品の検査結果を改ざんして、不良品を合格品として出荷している。しかし“それ程の不良度合いでもなく、通常の使用には問題ない。他社の検査基準なら合格だ”、と言う話を上長はしている。しかし、彼は技術者として許せな

いと思っている。“内部告発すべきかどうか迷っている”、どうすべきかとの相談を受けた。』

さて、あなたはどうか指導し・答えるか？

なお、あなたの立場は工業高校の教諭。青年の立場は、技術者として頭角を現し、会社で将来を嘱望され、近い内に昇格させるという話もある。

【学生のレポートより】

学生の回答の各講義と2回の平均の集計を比率(%)で示したものが下表である。回答の傾向としては、昨年に比べ今年の方が告発を勧める比率が多くなっている。最近の食などの安心・安全に関する偽装等が増えている結果を反映しているかもしれない。また学生と言えども穏便に事を収めることを望む傾向が強く出ているようだ。これ以上の集計結果に対するコメントは差し控え、読者の方にて、考え方の背景や今の学生気質等を推察して頂ければ結構である。

レポートでは講義に対する感想・意見も書くように求めた。概ね好意的な感想が多く、一部の人は働きながら夜間に学んでいる環境の第2部の学生の姿が垣間見られた感じである。

【謝辞】

学生・若者を相手に話をする機会を与えて下さいました、松井学長及び職業指導教育ご担当の鷲見教授並びに工業会を含め当授業にご関係の皆様へ謝辞を表します。

		2007年度	2008年度	平均
指導 アド バイス	内部告発を勧める(転職を勧めるも含む)	14	31	23
	内部告発はしないように勧める	22	8	15
	話は聞くが自分で決めさせる	26	15	20
	上司、同僚などと相談するなど、(穏便な)解決策をとらせる	30	40	35
	その他(静観する、ほっておく等含む)	8	6	7
理 由	良心に従う、正義だから	14	35	24
	社会人だから指導せず自分で決めさせる	16	17	16
	会社、家族を守ることを優先させる。告発しても自分が居づらくなったり、転職しても噂が走るため、穏便な解決が一番良い	38	29	34
	詳細な事実の把握、データが必要で時間をかけて調べさせる。ほとぼりが冷めるのを待たせる。その他...	32	19	26

課題レポートの回答集計 数字は%

トピックス

実務型教員の経験から

転職を活用したキャリア形成の例

三菱電機株式会社 高田 祐一 (FB⑦)

私は、NTT西日本で名工大のリクルーターをしていたというご縁から、恩師より本制度をご紹介頂きました。大学の教壇に立つなどという大それたことは、自分に勤まるか非常に不安でしたが、折角の機会であると考え、応募させて頂きました。

私は、NTT西日本、ネクステック（コンサルティング会社）、三菱電機の順に3つの企業を経験しており、転職を2回しております。コンサルタントを目指してコンサルティング会社に1回目の転職をしましたが、仕事内容、社風が入社前に考えていたものとは大きく異なり、目指すべき仕事を求めて2回目の転職をしました。現在は、ITを活用した業務改善・システム企画をしており、この職種は自分に適しているのではないかと感じるようになってきました。これは、当初目指していたコンサルティング会社に所属するコンサルタントや独立コンサルタントとは異なるキャリアであります。試行錯誤の上に至った仕事のため満足感があります。

講義では、IT・通信やコンサルティングの仕事の紹介、転職に関する情報提供、転職後の感想などをお話させて頂いております。学生の方が社会の中でキャリアを形成していく過程において、私の2回の転職経験が少しでも役に立つのではないかと勝手ながら考えて、話をさせて頂いております。私がキャリアを形成していく過程では転職が大きな転機になりました。転職は、キャリアや価値観を広げるという意味では非常に有効な手段であり、チャンスがあれば、転職を活用していくことは良いことであると思っております。一方、転職先に入社しないと、社風、仕事内容が自分の目指しているものと本当に合っているのか分からないというデメリットもあります。これについて少し詳しく述べますと、転職前に情報を収集することである程度は転職先について把握できますが、人材紹介会社（エージェント）のキャリアコンサルタント

も企業の実情を知らない場合が多く、転職先の人事担当、職場の人も会社の全てをありのままに伝えることは非常に難しいです。また、たまたま転職しようとしている会社に知人がいて利害関係のない第三者として意見を聞けたとしても、その人が属する職場環境以外の情報はあまり分かりませんし、人の人生を左右する重要な情報となると慎重に提供せざるを得ないため、その人の仕事に対する本音は聞き出すことが難しいです。

私は、転職しても仕事に馴染めずに半年も経たないうちに再転職していく人を何人も見てきました。このため講義では、転職によって実現したいキャリアを明確化し、転職のメリットとデメリットを慎重に比較・分析して、最終的にはリスクを踏まえながら自己責任により意思決定することをお勧めしています。

講義における学生の方々の反応について述べますと、教科書や書籍に書いてある知識よりも、私の実体験に関心を持って頂いていると感じます。会社の研修会で説明するような内容よりも、仕事における泥臭い苦労話、失敗談の方が、とても集中して聞いて頂いているように講義をしながら感じます。学生の方の反応、感想を通じて、私自身が考え直したり、考えを深めたりすることがあり、非常に有意義に感じております。特に私の意見に対する反論を頂くことが、自分の考え・価値観を修正するのに非常に役立っております。

最後に実務型教員制度について述べたいと思います。本制度は、名工大のOB・OGが後輩のキャリア形成に貢献できるという点で非常に有意義であると感じております。また、講義が半期に1回であり、仕事との両立し易いと感じております。今後も、学生の方がキャリア選択する際に役立つと思われる内容を、ご紹介させて頂きたいと考えております。

トピックス

実務型教員の経験から

職業選択に向けて‘働くとは?’

藤井事務所 藤井 正博 (G50)
(人材育成コンサルタント)

厚生労働省からの委託で、富山職業能力開発サービスセンターにおいて、長年(平成9年4月より)人材育成コンサルタント(企業における職業能力開発支援等を担当)の仕事をして戴いている関係で富山県内を中心にして、富山県立技術専門学院非常勤講師、大学生の就職セミナー等における相談員(キャリアコンサルタント)の他、職業選択などに関してセミナーの講師の実績により、縁がありまして、今般、母校において「職業選択に向けて‘働くとは?’」と題して、講義をさせて頂いております。

私は、昨今企業訪問(富山県内)をしておりまして考えさせられることがいくつかあります。例えば、若者の就業が長続きしない、いわゆる7/5/3現象は、地方といえども都会地と同様であり、富山県も高卒の約40%強が就職後3年以内に退職します。若者が離職(失業)に対して危機感がないようです。(離職率は失業率の約4倍?と言われる中、その約75%程度が短期間に再就職出来ている。)また‘シングル(晩婚化傾向)’社員が増加していること、ストレスから来る‘うつ病’が増加し、多くは退職に追い込まれている現状が見られること等です。

特に、最近、企業の人事労務担当者から相談を受けることが多くなった事由は、入社3~5年未満での退職者が増加しつつあり、若年者の①モチベーション(やる気)、②企業への帰属意識、③コミュニケーション(日本語力、特に読み書き)能力が低下しつつあること等です。

これらの実務経験・体験を踏まえ、「働く為のキーワード」と題して、学生に対して講義をしております。‘働く’上で必要な事由について学んで戴くとともに、「人生の原則」についてもお話をします。人生は、旅である/限りがある/無駄はない/波がある/喜怒哀楽である/生老病死がある/ツキがある、等々についてです。

また、人生において、‘人脈’が如何に重要であるか?年齢を重ねるとともに実感させられるこ

と、すなわち人生を「安心・安全・安定」に過ごすには、人脈・人との縁が重要であることについて話をします。

講義中は、学生は真剣に耳を傾けてくれ、質問もきます。帰り道に呼び止められて質問も受けました。さすが名工大生と感慨を覚えることしきりです。いままで様々な講演・セミナーを引き受けて来ましたが、このような非常に良い経験をする機会を与えて戴き感謝しておりますことを記して、筆を置きます。

表1. 講義内容項目一覧

- | |
|---|
| 1. 働く目的とは?
収入/自己実現/社会貢献 |
| 2. ‘じんざい’の種類?
人在/人材/人財/人剤/人済/人災/人罪 |
| 3. ‘じんざい’の要件?
やる気/リーダーシップ/発想・創造性 |
| 4. 人間の欲求とは?
(例) マズローの五段階欲求説
①生理的欲求/②安全の欲求/③所属・愛情の欲求/④自我自尊の欲求/⑤自己実現の欲求 |
| 5. ‘六気’について
やる気/本気/根気/気づき/気配り/気働き |
| 6. 伸びる‘じんざい’の要件?
素直さ/プラス志向/勉強好き |
| 7. ‘あさがお’で職場を‘オアシス’に!
あさがお:あ=有難うございます/さ=さようなら
/が=頑張ります/お=お早うございます
オアシス:お=お世話になります/あ=汗をかきま
す/し=失礼します/す=すみません |
| 8. 5S+a=○○S?
5S(例):整理/整頓/清掃/清潔/躰
+a(例):親切/誠実/相談/支援/世話 |
| 9. ホウレンソウとは?⇒報告・連絡・相談 |
| 10. プロ(じんざい)に求められる能力とは?
プレゼンテーション能力/コミュニケーション能力
/時間活用術/リラクセス術/発想・創造能力 |

トピックス

実務型教員の経験から

実務型教員を経験して

愛知県立岡崎工業高等学校長 吉見 和俊 (E50)

名工大第二部「キャリアガイダンス」実務型教員として、平成19年、20年と2回の講義をさせていただきました。一般論的なことよりも自分の経験に基づいた具体的内容での講義依頼でしたので、昨年度は、高校教師として長く工業教育に携わり、経験してきたことや普段考えていることを中心に話をさせていただきました。学生にレポートを書いてもらう時間を除いても2時間半の講義時間がありましたので、私の思いは十分伝わったと思っています。高校教員という職業について、なるべく良いことも悪いことも率直に話すことを心がけました。工業高校やそこで勤務している教師の世界を理解してもらうことで、少しでもキャリアガイダンスとして役立てばと思ったからです。講義のあとで、学生に書いてもらったレポートを拝見すると、高校の教師は、大変やりがいのある職業で、自分も教師をやってみたいと思ったという感想と、大変そうなので教師にはなりたくないと思ったという感想の2つに大きく分かれています。モンスターペアレントの存在は、学生もよく承知しており、教師バッシングの時代背景もあって、教師という職業を敬遠する大きな要因になっているようです。

今年度は、全国的に工学部の人気が年々低下し、受験者が減ってきている現状をふまえ、その実情を伝え、原因と対策を学生と一緒に考えることに重点をおき講義を行いました。現在、工業高校も大学工学部と同様に人気低迷しており、工業立国であるはずの日本が、このままでは技術者や技能者の質・量が共に低下をし、早く抜本的な手を打たないと手遅れになってしまう危惧をデータを示して伝えました。学生たちも、ほとんどが真剣に考えてくれ、様々な意見も出されました。その中でも、工学分野に優秀な人材を集めるためには、技術者の地位や待遇の改善が必要であるとの意見が多かったように思います。中には、大学の工学部在学中は実

験実習で追われ、ゆっくり遊べず、苦勞してやっと卒業するのに、社会に出てからは、ゆとりで学生生活を楽しんできた文系の人間に使われることが多いことに不満を持っている学生もいました。また、中国や韓国等の新興国と競争するだけでなく、もっと技術面でも協力体制を築くことが大切であるという意見や、工学系の学生はもっと勉強する必要があるなど、前向きな意見も聞けました。本音の意見が聞けたことは、私にとっても大変有意義であったと思います。卒業を半年後に控えた学生たちなので、すでに進路が決定しており、この実務型教員による一連の授業が、直接学生の進路決定に結びつく訳ではないことが少し残念ですが、長い目を見て、将来の人生設計に少しでも役立てばありがたいと思います。このような機会を与えていただいた名古屋工業大学の関係者の皆さんと熱心に講義に耳を傾けてくれた学生たちに感謝申し上げます。



トピックス

その2

名工大・名市大合同テクノフェア2008

名古屋工業大学 産学官連携センター

名古屋工業大学と名古屋市立大学は2007年12月5日に「相互の連携・協力の推進に関する協定」を締結しました。これを受け、2008年のテクノフェアは合同で開催する運びとなりました。両大学が蓄積してきた研究シーズと連携によって生まれた研究成果を公開し、産学官連携を推進するため、全学的行事として2008年11月5日、名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)において開催しました。メインテーマを「産学官連携が創造する未来」とし、基調講演およびテーマ講演、さらには各分野における研究成果展示やシーズ発表会が行われました。開催にあたり、中部経済産業局をはじめとする31機関および地元企業をはじめとする23機関のご協賛を頂きました。お蔭様で、750名を越す参加者で盛会のうちに実施できました。改めて関係各位に厚くお礼申し上げます。

以下に、その概要を報告します。

特別講演： 我国の産学官連携の将来像について
(田口康氏 文部科学省研究振興局研究環境・産業連携課長)

田口氏より、1996年の科学技術基本計画から始まり2004年の国立大学法人化を経て2006年の第三期科学技術基本計画に至る産学官連携政策の10年を振り返りながら、文部科学省の諸施策(イノベーション・ジャパン等の行事、大学知的財産本部整備事業の評価など)の紹介、共同研究・受託研究・特許出願・特許実施・大学発ベンチャーなど産学官連携活動の具体的な実績、さらにこ



田口 康氏による特別講演

れからの産学官連携のあり方について説明が行われた。今後、本学が産学官連携を進めるうえで、また、来場の企業の方々にとっても非常に参考になる内容であった。

特に、これまでの産学官連携活動に対する一般的な評価として、この数年で我国の産学官連携が大きく進展していること、企業よりも大学の方が努力していること、成果が経済効果として現れるには時間がかかる、という総括は産学官連携センターとして勇気づけられるものがあった。一方、大学の研究成果を社会に還元するための社会システムが現状、不十分であること、国際競争力のある「日本型」産学官連携システムの構築が必要、という指摘は本学にとっても重要な今後の課題であろう。

基調講演： 医療機器の動向とハイブリッド医薬品
(長南正人氏 ニプロ株式会社取締役)

長南氏は、人工透析器開発の最新動向、また薬剤と輸液を別々に内包し、施用するときに混ざるといった薬とキットのハイブリッド化について自社の製品を紹介した。これにより希釈ミスが防がれている。

背景に世界的な生活レベルの向上によるメタボの増加に伴う糖尿病患者の増加がある。その結果、腎不全患者が増加し、血液透析装置がますます要求されているとのこと。透析を要する患者数はこの20年間で日本では3倍、米国で4倍、世界で5倍にもなっており、今後とも着実に増加することが予想されている。



長南正人氏による基調講演

同社の透析器（ダイアライザー）は腎臓の限外ろ過を代行するものであるが、極微の多数の穴を有する中空糸を束ねた構造を持つ。ろ過機能は、60年代には尿素、クレアチン、尿酸だけであったが、最近では尿毒素と結合したアルブミンの一部も除去できるようになっている。名市大医学部関係者だけでなく、興味を引かれる内容であった。

記念講演1：産学連携の成功と失敗の分れ目？

（梅崎太造教授 名工大産業戦略工学専攻）

梅崎教授は2008年6月に京都で行われた第7回産学官連携推進会議（主催：文部科学省ほか）で産学官連携功労者表彰・科学技術政策担当大臣賞を受賞されており、これを記念して企画されたものである。

大学発ベンチャーの経営について経験豊富な同教授から、ベンチャー起業の動機、ベンチャー経営における課題と実務処理、これからの大学研究者のスタイルについて含蓄が深く、かつ忌憚の無い発表がなされた。いずれも、今後の大学発ベンチャー育成にとって大いに参考になる内容であった。



梅崎教授による記念講演

記念講演2：あらたな光線治療機器の開発～医療機器研究開発の成功の秘訣～

（森田明理教授 名市大医学研究科）

紫外線は皮膚に有害なものとして一般に理解されているが、森田教授はその常識を覆し、特定の波長でアトピーなどの難治性皮膚疾患に理想的な効果をもたらすことを発見した。今回、その光線治療器「セラビーム TheraBeam UV308」を製品化したことを記念して企画した。

エキシマライトを使用することで正常皮膚への過剰な照射を防ぎ、罹患部位を特定して照射す



森田教授による記念講演

るとともに不要な短波長領域の紫外線はエキシマフィルターでカットし安全性を最大限に高めている。全身治療のほか、部分的に残る皮疹や局所の再発に対しては追加的に照射可能となっている。

製造元はマイクロニクス株式会社が、販売はウシオ電機株式会社から行うことで、大学シーズの製品化がなされた。

シーズ発表会：第一ファッション展示場特設会場に2つの会場を設営し、4つのジャンルについて各々3テーマの発表が行われた。いずれのテーマも興味深く、多数の参加者が見られた。

[ライフサイエンス関係]

- ・幹細胞による脳組織の再生（澤本和延教授 名市大）
- ・関節リウマチの新薬探索のために利用するモデル動物（金澤智講師 名市大）
- ・大型・高品質コロイド結晶を用いたチューナブル光学材料（山中淳平准教授 名市大）

[都市社会関係]

- ・防災とは何か（谷口仁士教授 名工大）
- ・安全監視の技術（岡田成幸教授 名工大）
- ・地震に強い木造住宅の実現をめざして（井戸田秀樹准教授 名工大）

[ナノ・材料関係]

- ・熱電変換によるエコ発電（西野洋一教授 名工大）
- ・ナノ材料の合成と太陽電池応用（曾我哲夫教授 名工大）
- ・光るプラスチックのしくみと効率化（高木幸治准教授 名工大）

[IT関係]

- ・サウンド・ウォッチャー（音の見張り番）の開発（岩田彰教授 名工大）

- ・自動車のIT化(佐藤淳教授 名工大)
- ・Wisdom Web:Webの智能化技術とその応用(新谷虎松教授 名工大)

ブース展示：テクノフェアにおける最大規模の出し物であるブース展示は、両大学のトピックス20シリーズと以下に示す専攻別5分野と各シリーズ、これに大学発ベンチャー13社の発表を加えた構成で行った。

- ・ライフサイエンス分野 18シリーズ
- ・物質・化学分野 43シリーズ
- ・電気・電子・情報分野 33シリーズ
- ・生産・機械分野 11シリーズ
- ・都市・建築分野 7シリーズ

ここで、トピックス展示のシリーズ4例を紹介する。

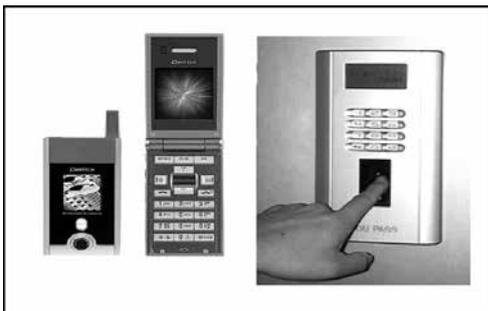
①指紋認証アルゴリズムの開発

(梅崎太造教授 名工大産業戦略工学専攻)

この指紋認証装置が産学官連携功労者表彰を受賞したものである。この装置に用いられるアルゴリズムは

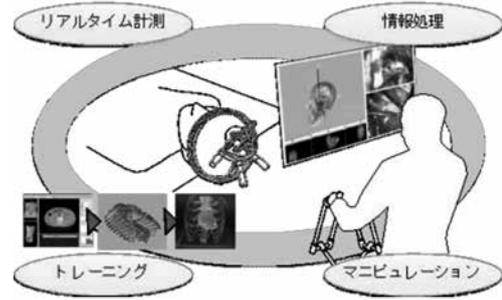
- ・従来方式では登録が困難だった「かすれ指紋」への対応が可能
- ・指紋全体画像の保持を不必要とし、指紋画像の流失を防止
- ・特徴情報から指紋画像を再生することは原理上不可能

などの利点から指紋認証市場で業界第1位のシェアを誇っている。



②インテリジェント手術機器研究開発プロジェクト (藤本英雄教授 名工大情報工学専攻)

がん、心疾患対策の主要な部位である脳神経外科領域、胸部外科領域、及び消化器外科領域を中心とし、現状の外科手術における問題点の克服や手術の効率、安全及び治療成績を向上させるため、「インテリジェント手術機器」の基盤技術を確立し、それらの技術を融合化することで製品化・実用化に繋げる研究開発を行っている。



③ナノテクで北京オリンピックに出場!

(藤正督教授 名工大セラミックス基盤工学研究センター)

中空ナノシリカをバレーボール表面に塗布することで、ナノレベルの凹凸を与え、特に汗が付着したときのスリップを格段に低減することに成功。このバレーボールは北京オリンピックにおいて公式ボールとして採用された。



④失われた神経細胞を再生する

(澤本和延教授 名市大医学研究科)

文部科学省の平成20年度「再生医療の実現化プロジェクト」個別研究事業において幹細胞治療開発領域の一つとして採択された事業。本研究は

- ・成熟脳・未熟脳における虚血性障害における病態・再生過程の比較
- ・内在性幹細胞の活性化・細胞移植による再生研究
- ・神経再生に関する未知のメカニズムを解明し、新規治療薬の開発に結びつける
- ・腫瘍化防止の機構を解明し、細胞移植療法に役立てる

を目標として研究が行われている。



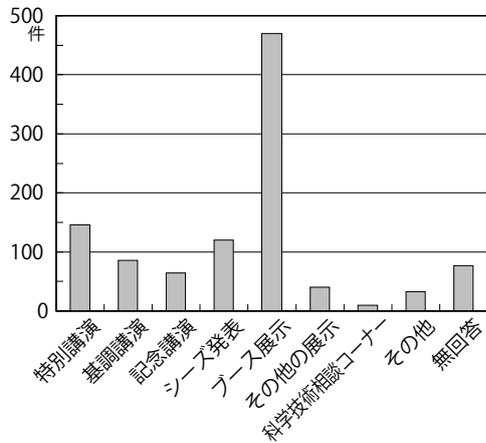
ブース展示会場の様子

まとめ：今回のテクノフェアは他大学との初めての合同開催であった。関係者一同、計画・準備の当初は当惑もあったが、振り返ってみると発表シーズ、参加者ともに広がりを持たせることができ、企画が適切であったと考えている。お陰様で、参加者は学外から345名、名工大関係者271名、名市大関係者140名で、総勢756名と盛況であった。

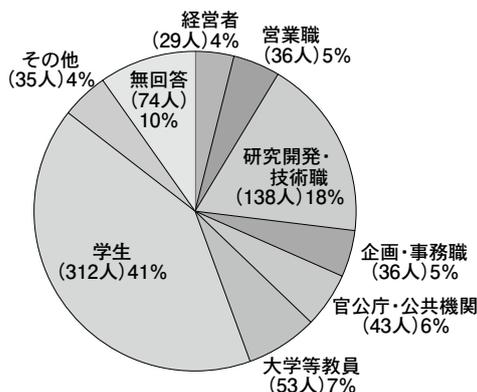
アンケート結果から、参加者の来場目的は下図のとおり、圧倒的にブース展示であり、特別講演、シーズ発表がそれに続いた。大学のフェアはやはり研究内容の展示がその核心であることを再確認した。

参加者の職種を見ると学生41%を除けば、企業の研究開発・技術職が主であり、後は大学等職員、官公庁・公共機関職員、企画・事務職、営業職、経営者がバランスした分布であり、テクノフェア開催の期待に沿うものであった。その他は中部TLO関係者、コンサルタント等であった。

これらの参加者から得られた評価としては、まず「共同研究を行いたい研究はあったか」という問いに対し、「有り」が28件あった。本学の共同



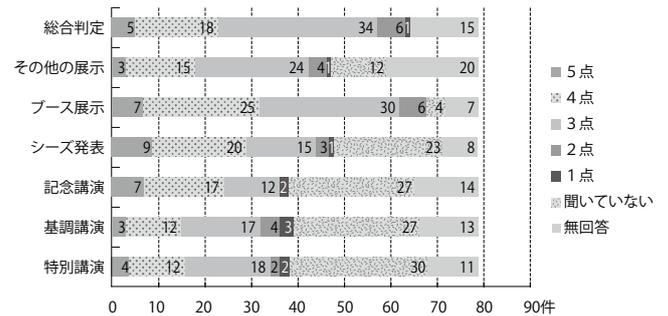
参加者の来場の目的 (アンケート結果)



参加者の職種 (アンケート結果)

研究実績が例年約200件であることから考えると有意な件数である。一方、今回発表したシーズ件数213に対しては13%に留まり、まだまだ改善の余地があるという結果でもある。改善の方法については今後の課題としたい。

今回のテクノフェア全体の評価は下図のとおりで、総合判定において満足度5点、4点、3点を合わせたものは72%であった。満足度2点、1点を合わせたものを不満足と捉えると、不満足は9%であることから一応満足して頂けたものと考えている。



テクノフェアに対する評価 (アンケート結果)

名古屋工業会の皆様へ：「名工大・名市大 合同テクノフェア2008」の内容を本学OBの皆様に出るだけ詳しくお伝えしました。「ごきそ」425号で開催の案内をさせて頂きましたところ、43名のご参加がありました。ご参加の方々に感謝いたします。

本学のテクノフェアも今年で第10回目になります。当初は大学院VBLが開催する大学院生の研究発表の場であったものが、全学的なシーズ公開の場に発展し、名古屋市立大学との合同開催にまで大きく様変わりしてきております。

工業会会員の皆様におかれましては、是非、母校の教育・研究の成果とその進化を、とにかくまずご自身の目でご覧いただきたいと思っております。そのうえで、建設的なご意見をいただければ幸いです。なお、今回のテクノフェアの企画を行った産学官連携センターの窓口は次のとおりです。今後とも積極的な交流をお願いいたします。

産学官連携センター窓口：

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学産学官連携センター
Tel: 052-735-5627 Fax: 052-735-5542
E-mail: nitfair@tic.nitech.ac.jp

記：教授 岩尾憲三

交流コーナー

非サイエンスがもたらした二つの世界初

株日本触媒 触媒研究所所長
嶋崎 由治 (D57)

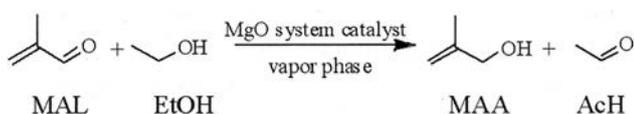
1. はじめに

グリーンケミストリーが強く認識される今日でも、エネルギーおよび環境負荷の面で問題を抱えた化学品製造プロセスは多く現存しています。それらの問題を解決するのに、固体触媒を用いる新規プロセスの開発は極めて有効な手段となります。

幾つかの非サイエンス的要素 —幸運、偶然、人— に恵まれ、世界初の低環境負荷型プロセスを二つ工業化することができました。これらは、新規固体酸塩基触媒の開発によって初めて実現しました。開発過程でのエピソードを交えながら、その概要を紹介させていただきます。

2. 固体酸塩基触媒研究のきっかけ

入社してすぐ、「メタクリル酸製造用触媒の改良」を命ぜられました。触媒素人のため、どう取り組んだら良いのか、大いに悩みました。ふと、院生時代に荒木先生から教わったHSAB則 [硬い (柔らかい) 酸 (塩基) は、硬い (柔らかい) 塩基 (酸) と親和性が高い] が苦し紛れに頭の片隅から滲み出して来ました。HSAB則に沿って選んだ幾つかの添加物は選択率向上効果を示し、触媒改良に寄与できました。先輩達とは違うアプローチを見て、上司は、「新テーマをこいつにやらそう」と考えたそうです。メタクロレインをアルコールで還元して選択的にメタリルアルコールを合成する気相反応 (Scheme 1) を研究することになりました。この反応に有効な触媒は固体塩基とされていましたが、それに固体酸を添加してみました。間も

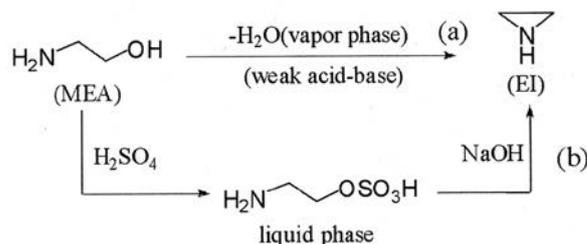


なく、幾つかの高性能触媒が見つかりました。どうしてこれらが効くのかについて調べました。

そして、「反応には塩基点のみが関与するのではなく、酸点も必要」との考えに至りました。メタリルアルコールは工業化できませんでした。ここで開発した固体酸塩基触媒を他の反応に試すことにしました。入社2年目のことでした。

3. エチレンイミン新製法の開発

当時、日本触媒は硫酸と苛性ソーダを使う量論反応でエチレンイミン (EI) を製造しており、副生する硫酸ナトリウムの処理に悩まされていました (Scheme 1-b)。モノエタノールアミン (MEA) からの直接脱水でEIを製造する (Scheme 1-a) 新プロセスが切望されていましたが、良い触媒が見つからず、その実現は半ば諦められていました。これに上記触媒を試みた



Scheme 2. Reaction routes

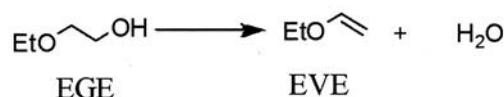
ところ、特許触媒を超える性能が出ました。これに励まされ、より高性能な触媒を探すことにしました。全くの思いつきで、カルシウムヒドロキシアパタイトを調製して試しました。いきなり工業化レベルの性能が出ました。直ちにトップから、「研究員も増やしてやるから早く実用化せよ」と命令されました。すぐさま触媒の再現性確認に入りましたが、出ない！性能が出ない！えらいこっちゃ！本当に引きつりました。深夜まで、幾日も、数え切れないほど実験を繰り返しましたが、最初の性能が再現されませんでした。そこで、最初の触媒を徹底分析するとともに、その触媒調製ノートを何度も見返しました。そして、真の活性種は不純物ではないか？との考えに至りました。通常、カルシウムヒドロキシアパタイトは、硝酸カルシウム水溶液とリン酸2水素アンモニウム水溶液を混ぜて、沈殿させ、それを濾別後、副生した硝酸アンモニウムを完全に水洗除去して作ります。私は、最初の触媒を作る際、リン酸2水素アンモニウムが手元に無かったため、リン酸2水素ナトリウムを使ったのです。水洗不足で残存した少量の硝酸ナトリウムが、焼成によってカルシウムヒドロキシアパタイト中のリン酸根と反応し、リン酸ナトリウムとなって混在していたのです。すなわち、真の活性種はリン酸ナトリウムだったのです。その後は、アルカリ金属の種類と組成比を最適化し、短期間に実用レベルの触媒が完成しました。振り返ると、手元にリン酸アンモニウムが無かったこと、実験が雑で硝酸ナトリウムが残存していたこと、という二つ偶然が重なり実用触媒が生まれたのです。この仕事は、1990年に世界初の気相法EI製造プロセスとして工業化でき、廃棄物削減に大きく貢献できました（'92年日本化学会賞、触媒学会賞）。

この触媒を開発する過程で、弱酸弱塩基の協同作用に古くから注目し、数々の発表をされている田部先生（北大名誉教授、元触媒学会会長、日本化学会副会長）の存在を知りました。先生

の本を読んだ時、私が何となく感じていることを極めて明解に多くの実験結果を基に解説していることに衝撃を覚えました。上司に頼み、先生に会えることになりましたが、直前に先輩から代われとの横槍が入りました。私は「休暇を取って、自費で行きます！」と上司に嘯み付き、結局、私が行くことになりました。その日から、今日までの二十数年間、先生から幾多の貴重なアドバイスを頂いたお陰で、我々の触媒開発力は飛躍的に向上したと実感しております。

4. ビニルエーテル新製法の開発

次のターゲットを模索していた頃、ある開発マンと出会いました。釣りや、キノコ狩りを趣味とする「平成マタギ」の様な人で、山に入れば必ず獲物を持って帰っていましたし、仕事においてはどこからともなく新しいネタを仕入れてきていました。ハンターとしての嗅覚が異常に鋭い人でした。イワナ釣りの車中で、「どんな反応をターゲットにしたらええでしょうかねえ？」と尋ねてみました。「ビニルエーテルを狙っては？」と即答を得ました。部下に検討を依頼しました。驚くべきことに、僅か数日後に「エチルグリコールエーテル（EGE）の気相脱水反応で、エチルビニルエーテル（EVE）ができた（Scheme 3）」との報告を受けました。



Scheme 3. Dehydration of EGE to EVE

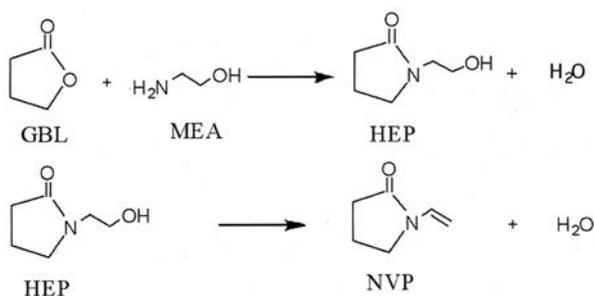
部下は、エチレンイミン用触媒を、常識を超える高温で使用してこの結果を得ていました。工業化には活性が足りないため、触媒改良に取りかかりました。部下は、エチレンイミン用触媒はリンが触媒必須成分であるため、リン含有系での触媒改良に拘りましたが、大して活性は上がりませんでした。私は、本当にリンは必須だろうか？と疑い、リンを極端に減少させてみました。すると、減少どころかリン無しで最高

活性が得られました。エチレンイミン用触媒には必須の元素が、ビニルエーテル用触媒には活性阻害要因となっていたのです。

この触媒を、他のヒドロキシエチル基を有する化合物にも試みたところ、各種ビニル化合物が高収率で得られることが分かりました。中でも、ヒドロキシエチルピロリドンのN-ビニルピロリドンへの気相脱水反応は極めて高収率で進行しました。

5. ビニルピロリドン新製法の開発

従来、N-ビニルピロリドンは2-ピロリドンとアセチレンの反応によって製造されてきましたが、その製法は安全および環境面で問題を抱えていました。我々は、 γ -ブチロラクトン (GBL) とモノエタノールアミン (MEA) からヒドロキシエチルピロリドン (HEP) を経て、連続的にN-ビニルピロリドン (NVP) を製造する方法 (Scheme 4) を開発し、その問題を解決しました。これが、二つ目の世界初の工業化プロセスとして、2001年に稼動しました ('03年Kirkpatrick Honor Award、'07年日本化学会賞、'08年触媒学会賞)。この触媒は、シリカにアルカリ金属を添加しただけの実に単純な組成で、しかもその酸塩基強度は指示薬法で測定できないほど弱いのですが、非常に高い触媒性能を発現しました。プロセスは、全系を連続流通式としており、数名の運転員で、安全、安定的に大量生産できるシステムとして完成しました。



Scheme 4. Production of NVP from GBL and MEA

6. おわりに

誰でも簡単に調製できる、極めて単純な触媒なのに、なぜ我々より先にこの様な触媒を開発する人がいなかったのでしょうか？エチレンイミン用触媒は、先述した様に、偶然がきっかけとなって生まれました。これは理屈で説明しようがありません。しかし、ビニルエーテル用触媒やN-ビニルピロリドン用触媒はエチレンイミン用触媒が基になって生まれています。

後に知ったのですが、社内でも、エチレンイミン用触媒の成功を見て、それをビニルエーテル合成に試みたグループがありました。彼らは、グリコールエーテルの脱水をエチレンイミン合成条件で行ったため、極微量生成したビニルエーテルの微小ピークを目的物と認識せずに、「エチレンイミン用触媒は活性なし」と結論したようです。もう一掘すれば宝に当たったのに、寸前で逃したのです。

原点に存在した伝説の開発マンは鬼籍に入れ、関係者の多くは定年を迎えられました。しかし、これまでに培った技術や経験は新しい技術者に引き継がれ、進化を続けています。

どこの企業にも、「良いところまで進んだが最後の壁を突破できずに実用化を断念したテーマ」が幾つか存在すると思います。しかし、それらの中には、あらためて環境貢献度を勘案し、現在の技術を組み込めば実用性がでてくるものが多数あると思われます。それらを掘り起こし、先輩方の努力を土台に若手研究者の斬新なアイデアと少しの運を加えれば、世代間ハイブリッドプロセスを開発できるのではないのでしょうか。

鶴舞の学び舎で伝統ある風を受けた若人達が、先人の到達できなかった領域を開拓されることを祈っております。

最後に、緑会総会での講演をご推挙下さいました春田先生、幹事の藤井様、小澤先生並びに役員の方々に深く感謝申し上げます。同時に、本稿をお薦め頂いた、緑様、水谷様、加地様、若尾様に深く感謝申し上げます。

学生コーナー

私の国、アフガニスタン

社会工学専攻 博士前期課程 井戸田研究室
Ahmad Farhad Hajez

アフガニスタンは、5000年にわたる歴史と文化をもち、多くの山に囲まれた中央アジアにある国です。地理的な特徴から民族や言語が多様です。パシュトン人、タジク人、ハザラ人とウズベク人が4つの主要な人種集団ですが、イラン、パキスタン、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタンなどの多くの人種と関連があり、これらのグループの間の境界はあまりはつきしていません。パシュトン人は、アフガニスタンで5分の2の人口を占めており、そしてアフガニスタンで2番目に大きな人種はタジク人です。

国の公用語は、パシュト語とダーリ語です。ダーリ語はアフガニスタンで話されるペルシャ語の方言で、このダーリ語とパシュト語が主な言語です。他にチュルク語や約30のマイナーな言語がアフガニスタンで話されています。私はタジク人でダーリ語を話します。

ほとんどの場合、アフガニスタン人は農民、職人または商人ですが、重要な少数派は遊牧民のライフスタイルに従います。また、大多数のアフガニスタン人(99%)が、イスラム教徒です。

小麦パンやお米は主な食べ物ですが、アフガニスタン人は、ラム、牛肉、チキン、野菜そして魚を好みます。アフガニスタン人は、毎食後に緑茶を飲むことでも有名です。それは食事とダイエットのために重要とみなされているからです。

アフガニスタンには美しい自然があり、そのことが多くの有名な詩人を生み出してきました。アフガニスタン人は日常生活で冗談を言うのが好きで、またお客様をもてなすことはおそらく世界一好きだと思っています。

日本の教育機関は、アフガニスタン人のライ

フスタイルを向上させる上で不可欠な役割を果たしています。日本の生活、職業などのすべての分野はアフガニスタンではたいへん尊敬されています。名古屋工業大学について言うと、この大学はアフガニスタン人が国際的な雰囲気勉強するための理想的な場所であると思います。海外の大学や研究機関との協力で、海外の学者を招き、セミナー、会議、講義などを開催しており、着実に発展していると思います。

日本人と共に働くことは、アフガニスタン人の仕事に対する効率と効果を高めてくれます。日本へ到着して最初の数か月は、食べ物や言語が異なるためアフガニスタン人にとって少し辛いです。しかし、日本でアカデミックプログラムが、すぐにこれらの問題を解決するように組まれており、自己持続性、自己研鑽、自習、時間厳守と生産性といった学校生活や私生活を一人で変えることができます。これにはたいへん驚きました。

私は、名古屋工業大学はすべての学生に教授が非常に親しみやすくフレンドリーだと思います。工学と技術の分野において知識を広げることが希望する学生にとっては、名古屋工業大学は特に優れた学校であると思います。



研究室の仲間、前列右が著者(2007.10.31撮影)

学生コーナー

日本に来てよかった

情報工学専攻 博士前期課程 平野研究室

Tran Thi Ha Nghi

部屋のドアを開けると、色々な匂いがする。キッチンからよく食べているオムレツ、お風呂からシャンプー、そして母が送ってくれた大好きなナンプラ（ベトナムの調味料）などの匂いが混じって、自分の部屋の匂いになっていた。昼間に嫌なことがあって疲れて夜に帰るとき、部屋のドアを開け、その匂いをかぐその瞬間、心には色々な感情が次々と出て来る。一人暮らしの孤独感、そして泣きたいほど実家の懐かしさ。無意識に口で「ただいま」とつぶやき続ける。疲れた体をベッドに投げ出した私はその時強く感じる。日本に来て7年間、家族と離れてずっと一人で戦ってきた自分の気持ちである。

私はベトナムの小さくて静かな町で生まれ、高校卒業までそこで家族と一緒に暮らしてきた。世界のことをテレビでしか見られなかった私は、高校を卒業した後、すぐ日本に来た。「なぜ、日本を選んだか」とよく聞かれたが、正直に言うと特別な理由はなかった。世界で技術や経済が一段優れている国々へ留学したいという気持ちは確かにあったが、家族の経済力では何もできないことをすぐ覚悟し、諦めた。そんな私は、運がよく日本に留学できる機会を見つけた。そこで、深く考えず、母の反対も無視して日本に来ることを決めた。

2001年の春に私は10人の同級生と一緒に、静岡での日本語学校の就学生として日本の静岡に来た。しかし、日本に来られるだけで何にもかもうまく行くわけではなかった。家族の支援を期待できずお金のない私達は、学費と生活費の支払い、そして大学の学費の準備のために、バイトを始めた。日本語がうまく喋れず、仕事の経験もなかった私達は安い月給で大変なバイトしか見付けなかったが、それでも嬉しかった。日本人は「バイトはやりたい時やる、休みたい時休む」と軽く思っているかもしれないが、その時の私達にとってバイトは勉強と同じように大

切だった。バイトがないと生活が苦しくなり、心配で勉強もできないほどだった。このように、私達は重いプレッシャーを抱えながら、日本語の他に大学に入るための受験勉強を自習した。辛くて「帰国したい。日本に来なければ良かった」と思ったことは何度もあった。それでも途中で諦めなかったのは、私の頑固な性格、そして日本語学校での先生方やバイト先の友達の励ましのおかげだった。

そして、思い出一杯の2年間の日本語学校の時代も過ぎた。私達11人は大学を受験、皆やっと国立大学に合格した。名工大に入学した後は、大学生として認められているし、日本語もうまくなっており、バイト経験もたくさんあった私にはいいバイトを探すのはもう難しいことではない。また、学費を免除された上で奨学金がもらえるため、前みたいにたくさんバイトをやる必要がなくなった。勉強以外に国際交流などのイベントに参加できるようになり、私は初めて充実で楽しい学生生活を実感できた。

今私は大学院の2年生で、来年から日本の会社に就職し、ベトナムと日本との関係ある仕事をする予定である。これからまだ長いだろうけど、日本での自分の7年間に振り返り、今の私はこのように言える。「日本に来て、良かった。」



アオザイ（ベトナム伝統の服装）を着ている私

クラブ紹介

No.6 仲間がいっぱいな合気道部

合気道部 初代OB 市原康広 (I M⑬)

名工大卒業生・在学生の皆様、初めまして。久しぶりに名工大に関わることができ、嬉しく思っています。学生時代、初段を取るために一生懸命仲間と稽古したことや、合宿や飲み会等を企画した楽しい時間を時々思い出しては、今も楽しい気持ちが蘇ります。

今回は、後輩達が頑張っている名工大合気道部の様子をお伝えさせていただきます。

合気道とは 合気道は、投げ技や固め技を主体とし、最小限の力で相手の重心・体勢を崩し、無駄な力を使わず効率良く相手を制する現代武道です。また、攻撃や足技がなく、護身の技としても使うことができる優しい武道である為、子供からお年寄り、女性にも幅広く取り組まれています。心身の健康にとっても良いと思います。

平常の稽古 毎週火曜日 (17:00-19:30) と土曜日 (14:00-16:30) に体育館横の柔道場で、一部生と二部生が合同で稽古しています。現在は院生を含め、部員数は約45名と多く、有段者も約20名います。月に一度、池下にある田代道場の和田昭師範が教えに来て下さいます。

演武会 合気道は他人と勝ち負けを競わない、自己鍛錬の形をとるため、試合を行いません。演武会とは、日頃鍛錬してきた技をお互いに披露し合い、学び合う場です。

名工大合気道部では、全日本合気道演武大会 (日本武道館)、東海合気道連盟講習会、名城古武術大会、円悠会演武会や合同練習会等に毎年積極的に参加して、真剣に自らの合気道に磨きをかけています。また、去年は名工大で合気道を始めてからの10周年を記念し、10周年演武大会を名工大で開催しました。

合宿 毎年2回、夏と春に楽しい合宿を企画しています。参加者が多いと観光バスで移動する場合があります。二泊三日の合宿で約二日間はみっちり稽古をするのが恒例です。その後のバーベキューや花火大会、海水浴、毎晩の飲み会

などはとても魅力的です。私が学生の頃は、三重県御座白浜や愛知県伊良湖岬等が合宿場所でした。最近は長野県下高井郡・愛知県蒲安市・愛知県南知多など多方面に出掛けています。



H20年夏合宿の様子

昇段・昇級審査 昇段審査は、年に2回学外で行われています。高学年の学生が相当の稽古を積んで審査に臨みます。昇級審査は名工大で行われています。みんなは袴が履ける初段を目指して、稽古に励んでいます。

飲み会・OBOG会 毎年恒例の飲み会として、新入生歓迎会・昇段祝い・卒業生追い出しコンパ・花見など盛り上がる集いがあります。またOBOG会を毎年7月第1週目の土曜日辺りに開催しています。卒業した多くのOBOGが集い、久しぶりの再会を喜び、楽しんでいます。OBOGの皆さん、再会を楽しみにしていますよ！読んで下さったみなさんも、これを機に合気道を始めてみませんか？

まずは健康のためにゆっくりと。



H18年 OBOG会の様子

クラブ紹介

No.7 躍進するバスケット部

バスケットボール部 主務 長谷川典彦
(電気電子工学科3年)

バスケットボール部は4年4人、3年9人、2年5人、1年6人の計23人で、大学の体育館で火、木、土の週3回練習しています。春休みや夏休みなどの長期にわたる休みには練習の回数を増やし、更なる技術の向上に励んでいます。

練習内容はフットワークや走りこむメニューから試合形式の実践的な練習まで幅広く行い、実験や講義で忙しい中、貴重な時間を無駄にしないよう1つ1つの練習をとっても真剣に取り組んでいます。

そして、日ごろの練習の甲斐があって8月7日から行われている第79回東海学生バスケットボールリーグ戦の予選リーグにおいて星城大学、愛知大学名古屋校舎、東海大学海洋学部、名城大学、名古屋商科大学に大勝し、決勝トーナメントに進むことができました。現在、名工大バスケット部は3部に所属しており、毎年2部昇格を目標にしてきましたが、昨年までは予選リーグ敗退という結果で終わっていました。今年こそは昇格できるよう、決勝トーナメントを突破し、入れ替え戦に臨んでいこうと思います。

東海学生バスケットボールリーグ戦のほかに大きな大会として4月には東海トーナメント、7月には東海地区国立大学体育大会(東国体)そして2月には三工戦があります。東国体では



1回戦の豊橋技術科学大学に残念なことに逆転負けをしてしまい、結果的に7チーム中6位という不本意な結果で大会を終えてしまいました。しかし、この大会での経験も予選リーグを突破するのに必要不可欠なものになったのではないかと思います。2月に行われる三工戦は、京都工芸繊維大学と東京工業大学の3校で毎年会場を京都、名古屋、東京と変えて交流試合を行っており、今年は京都で集まりました。

歴代のバスケットボール部のOBの方とは6月の第2週目の土曜日に集まる機会がもうけられていて、名工の体育館でOBの方対現役で試合をしたり、OBの方同士で試合をしてお互い親睦を深めます。自分よりも30年、40年先輩のOBの方も来てくださるので、とてもありがたく感じています。そして夜はOBの方と飲み会をし、OBの方が在学中に部活で経験した出来事などを話していただきました。興味深い話ばかりでとても楽しかった印象しかありません。

バスケット部に在籍することで色々な大学と試合ができるのはもちろんのこと県外の大学と交流ができたり、卒業生の方々と話ができたりと、たくさんの方とのつながりができました。このつながりを大切に、これからも練習をがんばっていきたいと思います。



学内ニュース

名古屋工業大学と物質・材料研究機構が連携協力協定を締結

～セラミックス研究教育の充実による人材育成の強化及び新材料開発による社会貢献に向けて～

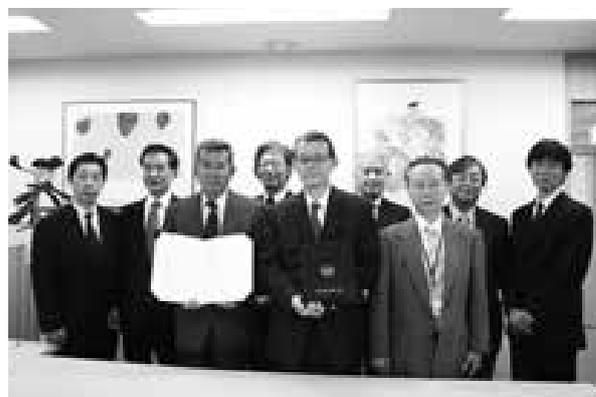
平成20年10月24日、名古屋工業大学松井信行学長と物質・材料研究機構（NIMS）岸輝雄理事長は、同機構東京会議室（東京都港区虎ノ門）において、「連携・協力の推進に関する基本協定」及び「連携大学院に関する協定」を締結した。これらの協定は、相互の研究能力と人材を活かし、連携・協力を促進することにより、国内外の学術及び科学技術の振興と有為な人材の育成に役立つことを目的としている。

名工大とNIMSは、従来からセラミックス関連分野において、有害物質（鉛、カドミウムなど）を含まない環境低負荷型照明・表示材料の開発、セラミックス開発の基礎になる材料の超精密な構造決定などの共同研究を進めるとともに、セラミックス研究教育の世界拠点形成に向けた協力を行ってきた。

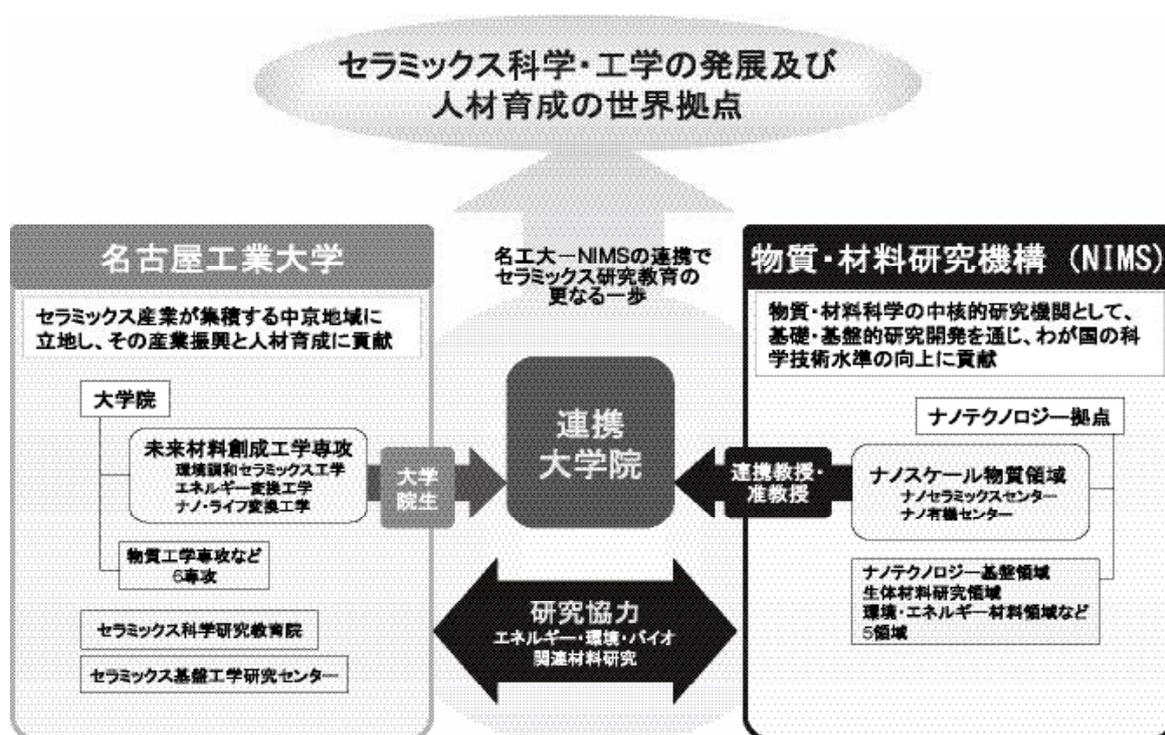
本協定の締結により、材料科学で世界有数の実績を持つNIMSの研究者が協力し、セラミッ

クス分野を中心にした連携大学院を実施することで、名工大の大学院教育の一層の充実を図るとともに、エネルギー・環境・バイオ関連材料研究での共同研究を一層活発化して、国内外の学術及び科学技術の発展に大きく貢献するものと期待される。

（事務局）



締結後の両機関関係者 松井名工大学長（左から3人目）と岸NIMS理事長（左から5人目）



連携概略図

「都市環境から考える明日のなごや展」を開催して

名古屋工業大学大学院産業戦略工学専攻 教授 堀越哲美

堀越研究室では、人間の五感に基づいた室内から建築、都市の環境デザインを行うための手法を研究し、実際のデザインへの提案をめざしています。2008年には、研究室の発足20周年を迎え、研究室OBに向けた、研究室の系譜ともいべき研究やデザイン提案についての展示会を行いました。その時に学外の関係ある方面の方々にも見て頂きました。その折、(財)名古屋都市センターの方から、この催しをふまえた展示会の可能性を打診されました。

そこで、(財)名古屋都市センターとともに名古屋も参加し、名古屋工業大学堀越研究室を含めた3者共催で「都市環境から考える明日のなごや展」を開催することになりました。展示会は、2008年10月28日から11月9日まで行われました。

内容的には、都市センターは、名古屋のヒートアイランドの実態報告その原因対策と名古屋の都市環境軸の施策化提案(堀越研究室との共同研究)で、市民の情報提供をめざしたものでした。名古屋市は、低炭素でも快適な都市への挑戦のパネルに始まり、10月31日から施行された名古屋の都市環境の快適性向上をめざした緑化地域の制度と緑化の手法を紹介したもの、名古屋の水の循環をめざした計画と水循環と都市問題の紹介でした。堀越研究室からは、人体の暑さ寒さの

研究、都市の体感気候の評価方法を起点として、名古屋のヒートアイランドと風の道や緑地による緩和効果、小規模緑地と微気候、壁面緑化と校庭芝生の暑熱緩和効果、瓦シャモットの蒸発冷却効果、伝統的風土建築の魅力と性能のパネルの展示を行いました。さらに、これらを基にした、名古屋の都市デザインへの提案として、雁道・御劔地区の環境的再生計画、中川運河長良橋付近風の道計画、千種2丁目(サッポロビール)跡地計画、若宮大通散策路計画、堀川納屋橋付近風の道計画の都市模型(ジオラマ)の展示も行いました。

この展示会は、多くの方々に見て頂くことができました。名古屋市民の方にとってこれからの名古屋を考えるひとつの情報提供にはなったと自負しています。2010年開催予定のCOP10に向けて、都市の環境を自然との共生として考える時期と重なる幸運なときに開催することができました。今後とも、健康で快適な安心安全の都市の環境を考えたまちづくりとその方法を研究していきたいと考えています。

最後に、このような展示会の機会を頂いた(財)名古屋都市センターに感謝の意を表します。



「明日のなごや展」開催案内



堀川納屋橋付近の風の道計画の模型



会期中の会場風景

名工大第二部同窓会開催報告

名古屋工業大学第二部同窓会を4学科合同で平成20年7月26日(土)に母校名工大にて開催しました。当日は恩師の方々を含め96名の出席者がありました。第二部につきましては、今日の大学教育における社会状況の大きな変化の中で、本学でも今年度より大幅な再編・縮小が実施され、今や大きな過渡期を迎えています。こうした中で開催された第二部同窓会には「大幅縮小は残念だが、同窓会には是非出席したい」、「卒業以来はじめて同窓会の案内状を頂いた」などの多数の声が寄せられ、当日は盛況なる同窓会となりました。

第1部記念講演会は、講堂2階会議室で本学名誉教授でもある川嶋絃一郎(ⅡM40)氏に「人生80年時代のエンジニア(専門職)」と題して講演をして頂きました。川嶋氏は、人生を無責青年時代、重責壮年時代、弱責老年時代とした上で、定年後こそ自己の専門性を生かした社会への貢献ができる時代であることを氏が定年後設立された(有)超音波材料診断研究所の概要やその成果を通じて話しをされました。定年を間近に控えた50代の出席者が多い中、皆さん熱心に講演に聴き入っておられました。

第2部懇親会は、会場を生協食堂ホールに移して行われました。まず電気科の大先輩であり、また私達の恩師でもある名誉教授の中村光一(ⅡE41)氏の乾杯

の音頭で祝宴が始まりました。最初に挨拶に立たれたのは多忙な中で駆けつけて頂いた松井学長で、その中では「今回の第二部の大幅縮小を残念に思われる方も多いかと思うが、昨今の状況からは是非ご理解を頂きたい」との挨拶がありました。

そして懇親会では、出席頂いた恩師の清水昭信氏、奥淳一氏や第1期卒業の山賀敏雄(ⅡD39)氏、第3期卒業の花市敬正(ⅡE41)氏からのスピーチが述べられました。また名工大100周年記念CDの上映があり、その中では懐かしき時代の写真の紹介もあり、出席者も全員大いに飲み、語り合い、旧交の輪を広げました。さらに終盤には学歌「東海の邦のほまれに」や70年代の学生歌「俺は工大だよ」の歌声が響きわたり、最後に太田久(ⅡM40)氏の「一本締め」で第二部同窓会を閉会としました。なお、この誌面を借りて幹事の方々をはじめ出席者の皆様に感謝を申し上げます。

記：藤本靖孝(ⅡM50)



平成20年度 大阪支部総会の報告

大阪支部では11月8日（土）に支部総会を中央電気倶楽部にて開催、最古参M22青木昭二氏から初参加CH18安田知永氏まで116名が出席されました。来賓として名工大木下副学長、本部篠田理事長、二杖常務理事、兵庫支部の楠田支部長、青野副支部長が出席され、少雨ながら例年以上の出席者を迎えました。

第1部はM45鳥取大学名誉教授林農（ハシ ッム）氏による「時代を先駆けた大学研究者の軌跡」の講演です。風車技術と風力発電の事業、新しい大学像を求めて歩んだ足跡、また、工業会が名工大に何で貢献できるかの話で、常に前向きな姿勢に一同気持ちを新たにしました次第です。

第2部は支部総会で、河辺支部長からは会員増強のために単科会との更なる連携強化の報告、篠田理事長からは工業会は大学活動のより強力な支援団体を指向したいと言う話がありました。木下副学長からは、名市大と単位相互認定をはじめ薬医工の連携の模索、外部資金獲得のため独自のテクノフェア開催や知財強化の話で、母校が大きな変節点にいる事を実感しました。

議事では、大阪支部会則（事業年度開始を10月1日とする、他）の変更の承認、委員会活動・単科会活動の報告の後、会計報告と予算案が了承されました。

第3部は会場を移して立食スタイルの懇親会が行われました。主催者・来賓の挨拶、M22青木先輩の乾杯の音頭の後、新人紹介・歓談・余興のビンゴゲームで盛り上がったところで、一同「東海の邦のほまれに」「俺は工大だよ」を合唱し、来年の再会を約束して閉会しました。

記：藤川昭信（M45）



平成20年度双友会総会およびOBと学生の懇談会報告

標記会を10月26日（金）に名工大大会館にて開催しました。午後5時からの総会では19年度事業・会計報告、20年度行事予定・予算案の承認の他、今後の双友会のあり方、工業会との連携、OBと在学生の連携について意見が出されました。

午後6時より懇親会ならびに新入会員歓迎会がW45森川民雄幹事長の進行で開催されました。新入会員歓迎会は、OBからの企業紹介、苦勞話を通じて学生の就職活動を支援する意味から、昨年に続き工業会の支援で開催しました。あいにくの天気ながらW20卒から学部4年生まで総勢95名が参加しました。

冒頭の市橋洋志会長（W40）の挨拶につづき、工業会常務理事二杖幸夫様から工業会と双友会との関係、工業会の大学への支援状況などの説明をいただきました。次いで、米沢敦氏（W20）の御発声による乾杯で歓談に入りました。大阪支部長今井啓祐氏（W40）、企業で活躍されるOBとして福永晃久氏（Mb⑰）（旭化成せんい株）、岩田邦弘氏（Zw⑫）（豊田鉄工株）、古川昌良氏（D⑮）（小林クリエイト株）、中井祐介氏（Zw⑬）（三菱レイヨン株）、柴田洋介氏（Zw⑱）（JSR株）（他、オー・ジー株、小島プレス株、東海ゴム工業株）OBの方々から一言ずついただきました。卒業後1～2年のフレッシュな方が多く、近い将来に社会にはばたく4年生へ熱いメッセージがあり、学生のうちにしかできない経験を積極的に実践し、交流の輪を広めることが今後の社会生活の上で大事であることを教わりました。

宴たけなわの中、魚住養正氏（W22）の音頭で万歳三唱、中締めとなりました。頼りがいのある諸先輩との交流で有意義な懇親会となりました。

記：山本勝宏（ZW⑥）



挨拶をする三菱レイヨン株中井祐介氏（Zw⑬）、佐藤有美氏（Zw⑱）

平成20年度NTT名工会総会開催

恒例のNTT名工会総会を「ローズコートホテル」(名古屋)にて去る10月10日(金)に開催しました。出席者は42名と昨年とほぼ同程度の出席者を迎え賑やかな会となりました。

総会 事務局より平成19年度事業報告及び会計報告があり、続いて平成20年度役員選出を行い、前年度の役員がそのまま再任されました。

講演会 今回は特別講師として(株)NTTドコモ取締役常務執行役員経営企画部長:加藤薫氏(Es52M)を迎え「ケータイの今とこれから」と題して講演を行って頂きました。

ポケベル、ショルダーホン等移動体事業の創設期から今日までの歩み、iモード・おサイフケータイ・ワンセグ・動画再生、2003年～2007年までの成長期から2008年以降の成熟期へ、新タイプのFMC(Fixed Mobile Convergence)サービスの今後の見通し、オープン化とグローバル化に伴うモバイル業界全体に及ぼす影響、第3.5世代(3.5G)携帯電話の今後の展開、今年4月に発表された「新ドコモ宣言」のねらいなどについて語って頂きました。加藤取締役は講演会講師の経験も豊富でわかり易く、面白く、また時々アドリブも入った話で、会場が笑いの渦に包まれ、話しの内容が身近なこともあり、皆が楽しくひとときを過ごしました。

懇親会 全員での写真撮影、大竹昌志会長の挨拶の後、昨年度の講演会の特別講師であり、今回の総会のためわざわざ大阪より駆けつけて頂いた尾崎幸博氏(E48);(株)NTTネオメイト代表取締役社長の乾杯の発声により、祝宴に入りました。昭和22年卒(航空学科)の渥美龍之先輩から平成19年度卒の新入社員まで60歳以上の年齢差の先輩と後輩が一同に会し、楽しいひとときとなりました。終盤の盛り上がった頃、「東海の邦のほまれに」を斉唱し、最後に新入会員;山本美奈さん(ドコモモバイル東海(株))の力強い決意表明の言葉で締め、来年の再会を約し、閉会しました。

記: 下條義康 (I D46)



第30回つるはし会 報告

第30回「つるはし会」は平成20年9月24日(水)午前11時30分より、昨年再会を約した場所、名古屋駅前のホテルキャッスルプラザ池下、佐久良にて開催された。

出席者…有吉 昭、青木 清、酒井 憲
杉崎 昭、高木東吉、成田 進

例年「つるはし会」の呼び掛けは暑くなる前に行ってきたが、今年は幹事の連中も高齢に加えて早くから体に堪える猛暑に襲われては、諸君の体調を懸念して如何なものか、とつおいつし、でも、続ける事に意義あるべしとして、9月3日に案内を発送した。

19通の返信あり、殆どのハガキに書かれていることは、病と足の疾患。

元気印の上記6名で、卒業後60年の「つるはし会」を開催。

本年5月19日永眠の安藤山城君・8月14日永眠の棚橋喬造君の冥福を心から祈って黙祷する。

昼食会なので軽くビールで乾杯し、話話を重ねて、気分は60年前の学生に戻ることが出来るのは、若さと活力の補給に充て二分のエネルギーとなった。

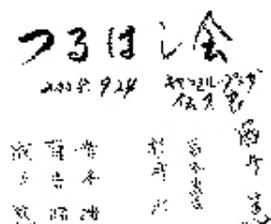
互いの近況の報告に時間は瞬間に過ぎ行き、名残尽きないところで、それぞれが寄せ書きに達筆をふるい、今年もプロ級腕前の有吉君に記念撮影をして貰ったら、即座に映像され、喜びも一入となる。

下関の河村君が今年も山口名産の梨をわざわざ宅急便で送ってくれ、毎年彼の好意に感謝してお土産として貰って帰る。いつもいつも感謝しています。

次回には、又、飛行機で飛んできて戴きたいと念じます。

「つるはし会」鶴嘴は現在の学生にはおよそ縁遠いものかと思われるけど、われわれには終生不滅の名器だ。長くながくこの名を留め置くのが我々の任務と思い、誇りと思つて健康に留意し、元気で頑張ろう。

記: 酒井 憲 (C23)





謹賀新年

平成21年元旦

名古屋支部

[平成20・21年度主担単科会：双友会]

支部長	市橋洋志	W40
幹事	森川民雄	W45
幹事	沼田長之	W40
幹事	朝倉睦美	W54
幹事	中村武司	W53
幹事	樋口真弘	W61
幹事	山本勝宏	Wh6
庶会	杉本英樹	Wh6
計	高木幸治	Wh5

[単科会 代表幹事]

C	E	会	大館学	C52
光	鯨	会	宇佐美智伯	Ah6
巴	会	会	尾針幸夫人	M45
電	影	会	三森正民	E60
双	友	会	三森静男	W45
緑	会	会	大門静啓	D42
名	会	会	大山田正明	Y46
名	晶	会	大山鑄史	K45
計	測	会	大仁科健	F49
経	友	会	仁松尾啓志	B50
情	友	会	松尾啓志	J58
翼	会	会	小鹿良雄	Ⓚ23
D	F	会	渡辺秋義	Ⓚ17

事務局 〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4
名古屋工業会内 ☎(052)731-0780

北海道支部 (北鯨会)

支部長 三田村 好矩 (F41)

評議員 田上 利明 (C47)

東北支部

支部長 栗村 滋雄 (C29)

事務局 〒982-0261 仙台市青葉区折立4-5-6
☎&FAX 022-226-1386

東京支部

支部長/副理事長	E36	小田征一郎
副支部長/理事	M43	張田吉昭
副支部長/理事	D36	藤井賢一
常任幹事/理事	C42	坂井利充
常任幹事/参事	W33	飯田秀郎
常任幹事/参事	A40	三好修
相談役/参与	D30	友松英爾
相談役/参与	E31	浅井利夫
相談役/参与	D33	横田章弘
相談役/参与	C33	石川金治
相談役	D18	飯田重行
相談役	M18	小関健二
相談役	M35	星野三郎
支部/参事	A35	白川博之

常任幹事/評議員

C45	原田 龍次
A49	小松 信春
A61	工藤 利昭
M47	松浦 明人
M46	北野 良幸
E39	加藤 勝英
Es42	平手 孝士
Es46	山田 吉英
D44	岡本 利郎
D38	三山 雅敏
W38	倉島 俊二
Y40	日沖 昭
K43	須賀 久明
Ⓚ20	北野 豊
F47	嶋 昇平
B42	濱野 勝弘

幹事

C47	小林 保
E39	下前 哲夫
D35	齊木 良亮
D39	滝 義宏
W43	印藤 嶺
Y42	清 建太郎
K46	坂井 真人
F45	松永 新
B41	小林 尚好

支部監事

K25	小林 茂
W33	飯田 秀郎

(兼任)

甲信越支部

支部長 茅野 正澄 (K55)

山梨県 長野県 新潟県内会員一同

静岡支部

支部長 山之上 誠 (C49)

静岡支部役員一同

尾張支部

支部長 玉田 欽也 (W32)

平成21年度支部総会は稲沢市民会館で
4月11日(土)に開催します。

大阪支部

支部長／本部副理事長 K40 河辺 彰
副支部長／本部理事 W42 長江 正純
副支部長／本部理事 C44 木越 正司
副支部長 * D31 斉藤 忠夫

総務委員長 K40 土田 公司 同副委員長 M45 藤川 昭信
事業委員長 * M39 山本 泰三 同副委員長 * K40 重松 紀雄
同副委員長 D41 末利 鏡意
同副委員長 M47 安藤真一郎
同副委員長 C51 金坂 聖干
同副委員長 D51 佐野 義和
同副委員長 G54 大貫 雅彦

単科会支部長 C43 鳥居 興彦 役員 * A49 釧持 政之
単科会支部長 A46 齋藤 彰良 役員 * W40 西川 宣昭
単科会支部長 M45 掛田 健二 役員 A51 玉水 新吾
単科会支部長 E37 土居 秀行 役員 A45 野村 秀治
単科会支部長 W40 今井 啓裕 役員 C52 福井 広行
単科会支部長 D41 末利 鏡意 役員 M52 上田 一裕
単科会支部長 * Y40 片岡 宏治 役員 Es54 池田 隆浩
単科会支部長 K39 長谷川 啓治 役員 * W38 牧 紀久夫
単科会支部長 * F55 坂尾 健司 役員 * C55 小西 日出幸
単科会支部長 * B42 布施順之助 役員 E47 川越 英二
役員 D46 高原 喬二 役員 A57 山辺 雅英
役員 Es47 早瀬 憲一 役員 C62 清水 郁夫
役員 W48 奥村 茂樹 役員 Sc12 青木健太郎

*は本部評議員

地方部会幹事

和歌山県 C49 原 広之
奈良県 A35 長尾 寿 E36 藤原康宏 G50 西川嘉一
滋賀県 M35 加藤博之 M39 内藤悦郎 M46 中川平三郎
A22 中島 一(顧問)
京都府 D45 西村源四郎 D45 駒田周美

三重支部

支部長 大橋 進 (A41)

三重支部一同

岡山支部

支部長 宮崎勝秀 (A45) 幹事 野村幸宣 (C54)
評議員 中村浩巳 (A54) 浜野弘史 (Es56)
評議員 虫明正博 (K59)
幹事 石原 徹 (M31) 事務局
増田利郎 (D32) 〒701-0113 倉敷市栗坂467-22
斉藤 実 (C55) 虫明産業㈱内

広島支部

支部長 菱川 躬行

事務局 〒735-0015 広島県安芸郡府中町青崎東8番49号
株式会社システム総合研究所
☎ 082-284-5630

兵庫支部

支部長 楠 田 修 三 A50 兵庫県庁
副支部長 青 野 信 尹 C44 神鋼検査㈱ビス
吉 川 隆 夫 M43 元・川崎重工業
前 田 多 津 夫 A38 元・三菱重工業
秋 山 敏 郎 C33 元・兵庫県庁
幹 事 松 尾 憲 和 A53 兵庫県庁
三 好 達 士 C09 兵庫県庁
羽 倉 昭 二 C54 神戸市役所
西 川 芳 久 C47 神鋼環境メテックス
田 路 明 宏 D05 神鋼環境メテックス
上 村 芳 大 M55 川崎重工業
武 藤 崇 史 EJ02 三菱電機
弘 津 健 二 J63 三菱重工業
景 山 憲 二 M35 景山特許事務所
(東兵庫地区)
加 藤 恵 之 K44 白鷺特殊鋼
(西兵庫地区)

連絡先 〒651-0086 神戸市中央区磯上通2-2-21
神鋼環境メンテナンス㈱
西川芳久 TEL 078-261-7973

九州支部

毎年1回の例会には皆様のご出席をお待ちしております。
平成21年は11月初旬に福岡市で行います。

連絡先：支部長 喜多村治雄 0940-33-6114
事務局 永濱 伸介 092-716-2015 (清水建設㈱)
佐藤 孝志 093-872-2833 (新日本製鐵㈱)

名古屋工業大学名窯会

会 長 加 藤 倫 朗 (Y40)
日本特殊陶業㈱ 代表取締役社長

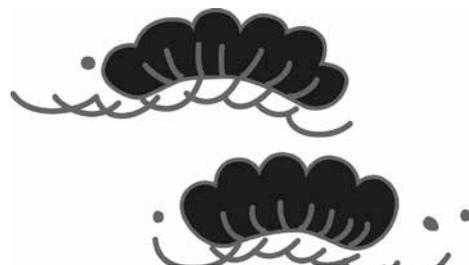
最高顧問 牛 込 進 (Y33)
㈱ TYK 代表取締役会長

副 会 長 道 家 清 正 (Y30)
名古屋工業会 理事

幹 事 長 大 里 齊 (Y43)
名古屋工業大学名誉教授

幹 事 葛 山 久 幸 (Y44)
医療法人社団浩養会 理事

事務局 環境材料工学科 本 多 沢 雄 (ZY6)
TEL&FAX 052-735-5281
E-mail honda@nitech.ac.jp



株式会社 **TYK**

代表取締役会長 牛 込 進 (Y33)

トヨタ車体株式会社

取締役社長 水嶋 敏夫 (M42)

〒448-8666 刈谷市一里山町金山100
TEL (0566)36-7500
URL <http://www.toyota-body.co.jp/>

森定興商株式会社

名古屋駅前 大東海ビル

代表取締役 森 真佐雄 (K20)

(名古屋工業会相談役
航空科翼会代表幹事)

太陽光発電
環境・省エネ
コンサルタント

瑞穂科学研究所

名古屋工業大学研究協力会会員
熊崎 憲次 (E23)

〒467-0014 名古屋市瑞穂区白羽根町1-59
TEL & FAX 052-841-7226

浅井翻訳事務所

浅井 利夫 (E31)

〒227-0038 横浜市青葉区奈良3-10-21
TEL 045-961-6216 FAX 045-960-1396
E-MAIL JBA00531@nifty.com

電設資材総合商社

FKD

深田電機株式会社

名古屋市東区赤塚町28番地 TEL <052>931-8111
深田 耕一 (D18) 深田 祥三 (K30)

財団法人 中部電気保安協会

笠寺事業所 保安課
保安技師

野田 昭 (E37)

(社)名古屋工業会元常務理事

総合印刷の

 有限
会社 **栄光社**

〒466-0014 名古屋市昭和区東畑町一丁目42番地
TEL <052>741-7701 (代)
FAX <052>741-7703 番

IMST Inst. コンサルタント 代表

自動車用材料・熱処理・表面技術 トヨタ式生産

名古屋市瑞穂区松月町3丁目31番地 鮎谷清司 (K31)
Tel & Fax:052-852-3826 E-mail:BZY03260@nifty.com

 株式会社 **エフエスケー**

代表取締役会長 伊藤 公禧

愛知県知多市新知字中殿1番地
TEL 0562-55-3115



豊田合成株式会社

TOYODA GOSEI

〒452-8564 愛知県西春日井郡春日町大字落合字長畑1番地
TEL: 052-400-1055 FAX: 052-409-7491
URL: <http://www.toyoda-gosei.co.jp>

————— 進歩と調和 ゆとりのある暮らし —————



株式会社 前田組 一般建築設計施工

代表取締役 前田 靖

名古屋市昭和区紅梅町3丁目3番地
TEL 852-2225(代) 〒466-0031

記念品に 後藤の工芸品
贈答品

ブロンズ製品、七宝製品、金・銀・錫製品
特注品、その他



◆創業安永元年 (1772年)

後藤銅器店

後藤 正 (E25)
名古屋市中区錦二丁目19-14(長者町通・広小路北入)
☎052-231-7511(駐車場有)

広報委員会

委員長 北村 正 (Es48)

幹事 犬塚 信博 (J62)

幹事 大園 忠親 (I7)

DMが得意な広告代理店

貴社のダイレクトメール効果向上を推し進めます。

- ◇トップ級のセキュリティを提供します。
- ◇顧客データをデジタル化し、確実にDMへ反映いたします。
- ◇顧客の行動を把握し、売上アップに繋がります。

ピーシープロダクツ株式会社

本社 名古屋市千種区今池4-3-23大成今池ビル
TEL052-741-0361(代) FAX052-741-2181

SAKURA SOFT HOUSE



株式会社 サクラソフトハウス

中小企業様のIT支援を承ります。

- ★★ 業務システムの構築・改善
- ★ ホームページの作成 Webサイトの構築

〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4 名古屋工業会館4F
TEL 052-735-3171 FAX 052-735-3172
E-mail : sakurash@na.rim.or.jp http://sakura-info.net

秀島 栄三 山口 啓 (C49)

北川 啓介 (A8) 宇佐美智伯 (SU6)

糸魚川文広 (M61) 平井 稔雄 (M5)

小坂 卓 (EJ6) 廣瀬 光利 (E50)

山本 勝宏 (ZW6) 森川 民雄 (W45)

本多 沢雄 (ZY6) 若尾 尚史 (D6)

鶴飼 裕之 (F52) 道家 清正 (Y30)

横山 淳一 (FB6) 飯田 雅 (K46)

森 聡 杉江 紘 (F院44)

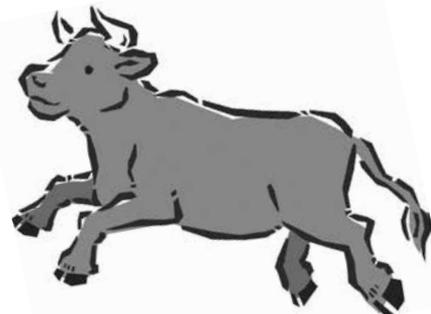
二村 幸夫 (K39) 加地 敏弘



名古屋工業大学生協同組合

専務理事 村本 哲也 (C62)

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
TEL(052)731-1600 FAX(052)731-8726
E-mail : muramoto@nitcoop.or.jp



投稿のお願い

名古屋工業会 広報委員会

「ごきそ」は会員の皆様からの投稿に支えられています。次の通り「ごきそ」への原稿を募集しておりますので、各ジャンルへの投稿をよろしくお願いたします。

【原稿のジャンル】

- ◆交流コーナー（4頁以内）：自薦または他薦で会員のお仕事上の経験などを紹介
 - ◆学生コーナー（2頁以内）：名工大生の様々な活動を紹介
 - ◆研究紹介（4頁以内）：オリジナリティと学術的有用性のある研究論文
 - ◆講座（4頁以内）：最新技術情報など一般読者に役立つ内容
 - ◆随筆（3頁以内）：見聞・体験・感想・在学時代の思い出など
 - ◆紀行（3頁以内）：海外出張・留学・旅行など
 - ◆情報ネットワーク（0.5頁以内）：支部報告・会員ニュース・お知らせなど
 - ◆その他（1頁以内）：俳句・詩などの文芸、会員の著書・展覧会などの寸評、ご自由な意見など
- これら以外に広報委員会が設定する特集・連載記事を募集または依頼します。

【投稿規定】

- (1) **原稿の種類** 掲載希望ジャンルを上記から選択してください。
- (2) **原稿の長さ** 1頁あたり「文章1,000文字+写真・図・表2点」が目安です。規定の頁数に収まるように作成ください。
- (3) **原稿の作成と入稿**
 - ・原則として当用漢字と現代かなづかいの口語体を基調とします。
 - ・刷り上りはA4版2段組です。標準の文字数は1段が「21文字×38行=798文字」で、1頁につき「21文字×38行×2段=1,596文字」です。
 - ・手書き原稿でも結構ですが、なるべくワープロソフト（MS-Wordあるいはテキスト形式）を使用し、図表を含め仕上がり紙面に近い書式で原稿を作成ください。
 - ・写真および図版はいただいたものをそのまま使用します。提出はデジタル画像を歓迎します。写真や図版ごとにキャプション（短い説明）と通し番号を明記ください。
 - ・電子メールでの提出を歓迎します。10MBを超える場合は分割して送信ください。
- (4) **原稿の採否および掲載時期** 原稿は、原則として未発表のものに限ります。原稿の採否および掲載時期は広報委員会にて決定します。原稿の短縮や、表現・内容の修正等をお願いすることがあります。
- (5) **著者校正** 通常の場合、初校の著者校正をお願いします。
- (6) **原稿表紙** 電子メールの本文、あるいは原稿表紙には次の情報を記載ください。
 - ・著者名と所属、本学出身者の場合は卒業した学科（あるいは専攻）、卒業年度
 - ・原稿の種類（掲載希望ジャンル）
 - ・原稿の題目
 - ・顔写真の有無（有りの場合はプリントまたは電子ファイルを添付）
 - ・連絡先（郵便番号と住所、電話・FAX・電子メールなど）

【原稿送付先】

原稿送付および投稿に関するお問い合わせは下記宛にお願いします。

〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4 社団法人名古屋工業会内広報委員会

Tel: 052-731-0780 Fax: 052-732-5298 E-mail: gokiso@lime.ocn.ne.jp

平成20年度 名古屋支部の“工場見学研修会”

平成20年度名古屋支部の工場見学研修会を次の通り開催致します。

1. 日 時：平成21年3月13日（金）8:15までに栄テレビ塔北 観光バス駐車場に集合
 2. 旅 程：栄（8:30）→ 東レ(株)名古屋事業場（9:15-10:45）→ 真福寺（昼食）（11:30-12:30）
→ 三菱自動車工業(株)岡崎工場（13:00-15:00）
→ えびせんべいとちくわの共和国（15:30-16:00）
→ 名古屋市内（懇親会、17:10～）
 3. 会 費：1名 4,000円（当日集めます）
 4. 申込先：下記の支部連絡先まで。お申し込みの際に、氏名、連絡先（電話番号）、勤務先、部署名、役職（学生の場合は学年）を併せてお知らせください。
なお、見学先企業の都合上、東レ(株)ならびに三菱自動車工業(株)と同業他社に勤務の方はご遠慮ください。ただし、既に定年退職されている方のご参加については支障ありません。参加は名古屋工業会会員の方に限ります。
3. 締 切：2月19日（木）。先着45名まで。

支部連絡先：

森川民雄 TEL052-751-6855、FAX052-751-6855

E mail Tamio_Morikawa@jetro.go.jp

名古屋工業大学大学院おもひ領域

杉本英樹 TEL052-735-5270、FAX052-735-5270

E mail sugimoto.hideki@nitech.ac.jp



編集後記

新年おめでとうございます。本年も本会誌「ごきそ」を宜しく願いいたします。さて今回は新年号ですが、恒例の理事長、学長の新年挨拶に加えて、トピックス「実務型教員の経験から」と題した特集を組みました。これは、工業会の会員が第二部の講義の一回分を実務型教員として担当された経験を執筆していただいたものです。大変

示唆に富んだ興味深い内容で講義されており、私自身も聴講したいと思った次第です。この企画は工業会と大学との連携強化の第一弾として実施されたものですが、今後は、法人化した大学と工業会との関わりも大きく変わっていくものと思われまので、このような具体的な連携の更なる展開が期待されます。（北村）

建設 不動産コンサルティング 調査 設計 企画



MAEDA

株式会社 前田組

代表取締役 前田 靖

〒466-0031

名古屋市昭和区紅梅町3-3 円昭ビル2F TEL052-852-2225

<http://www.enshow.com/MG/>

株式会社 円昭

代表取締役 前田由紀夫

有限会社 円昭建築設計事務所

所長 前田 知次



ENSHOW

〒466-0031

名古屋市昭和区紅梅町3-4-2 TEL052-841-2701

<http://www.enshow.com>

センサとレーザマーカの総合カンパニー



Sensing the Future—サンクス

取締役社長 吉村 元 (Es51)

各種F A用センサ (光電センサ・圧力センサ・近接センサ・変位センサなど)、安全機器 (セーフティライトカーテン・セーフティドアスイッチなど)、静電気対策機器、レーザマーカ、マイクロSCOPE、工業用内視鏡など

<http://sunx.jp/>

SUNX株式会社

東証一部・名証一部上場
愛知県春日井市 電話 0568-33-7211

(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。

31年の実績
(一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってくだされば

会員サポート費 **50% OFF**

ブライダルコース ¥220,500 ▶ ¥189,000 etc.

エクセレントコース ¥378,000 ▶ ¥330,750 etc.

●ミドル・シニアの方々のプランにも特典がございます。

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

●成婚率は業界トップクラス。

●入会審査有り

●都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。

●お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。

株式会社 **ブライダル** お問い合わせ (月曜定休) ☎0120-415-412
<http://www.bridal-vip.co.jp>

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

“仕事を通じて世界に喜びと感謝の輪を広げる”

高級耐火物、黒鉛坩堝、ファインセラミックス、景観材
ニューカーボン材、環境機能材、金属マトリックス複合材

創造性を追求する

株式会社 TYK

代表取締役会長 牛 込 進 (Y33)

本社 ☎100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2
☎03-3201-0821 FAX 03-3213-3566

本部 ☎507-0818 岐阜県多治見市大畑町3-1
☎0572-22-8151 FAX 0572-22-0706

本 社 ☎044(222)0244

川崎営業所 ☎044(222)0241

名古屋営業所 ☎052(361)8305

環境プラント、エンジニアリング

AGCグループ 旭硝子セラミックス特約店



日本窯爐株式会社

代表取締役 飯 田 重 行 D18

(本社) 川崎市川崎区榎町7番2号 〒210-0002

平成21年1月1日発行(隔月1日発行)

発行人/社団法人名古屋工業会 理事長 篠田陽史
電話(直通)〇五二七三二一〇七八〇 ファックス〇五二七三二一五二九八

振替口座番号〇〇八三〇八五八六四

[定価年二〇〇〇円]